

令和4年度
文部科学省委託調査

令和4年度「先導的₁大学改革推進委託事業」
博士（後期）課程学生の₂経済的支援状況に
関する調査研究

報告書

令和5年3月

株式会社 リベルタス・コンサルティング

目次

第1章 調査概要	1
1-1 調査目的.....	1
1-2 調査方法.....	1
第2章 調査結果	4
2-1 回答結果.....	4
2-2 回答者の基本属性.....	5
2-3 社会人の就業状況.....	11
2-4 学位取得状況	17
2-5 TA・RAの実施状況	24
2-6 アルバイトまたは副業の状況.....	39
2-7 経済的支援（奨学金・授業料減免等）について.....	49
2-8 一人当たりの総受給額（貸与型奨学金除く）	73
参考資料	76

第1章 調査概要

本調査研究は、文部科学省高等教育局からの委託を受けて実施したものである。調査概要は、以下のとおり。

1-1 調査目的

我が国が持続的な成長を遂げていくためには、その成長を牽引する博士人材の活躍が不可欠である。博士（後期）課程学生への経済的支援の増強は、博士（後期）課程への進学者数の増加および博士人材の研究への専念の両面から重要視されている。令和3年度から令和7年度にかけて適用される第6期科学技術・イノベーション基本計画においては、令和7年度までに生活費相当額を受給する博士（後期）課程学生を平成30年度実績の3倍増の約3割とする経済的支援に関する目標が掲げられている。本事業は「博士（後期）課程学生の経済的支援状況に関する調査（以下、経済的支援調査）」を実施することによって、直近の博士（後期）課程学生に対する経済的支援の状況等を詳細に把握することを目的としている。

また、第6期科学技術・イノベーション基本計画においては博士（後期）課程修了者の就職・活躍状況を把握するための追跡調査も同様に重要視されている。この追跡調査を目的の一つとして、文部科学省科学技術・学術政策研究所では、情報基盤として博士課程学生・博士課程修了者を登録対象とする博士人材データベース（JGRAD）を運営している。本調査事業は、科学技術・学術政策研究所と連携して実施し、経済的支援調査に回答した博士（後期）課程学生に対して、博士人材データベースへの登録を促し、博士人材データベースの登録者増加を促進することを付随的な目的とする。

1-2 調査方法

国内の大学院の博士課程を設置する全ての大学を通じて、令和3年度の各大学における博士課程学生の経済的支援状況について、アンケート調査を行った。

1-2-1 調査対象

博士課程を設置する国公立大学において、令和3年度に在籍していた全ての博士課程の学生（調査期間において既に博士課程を修了している者/単位取得退学した者も含む）を

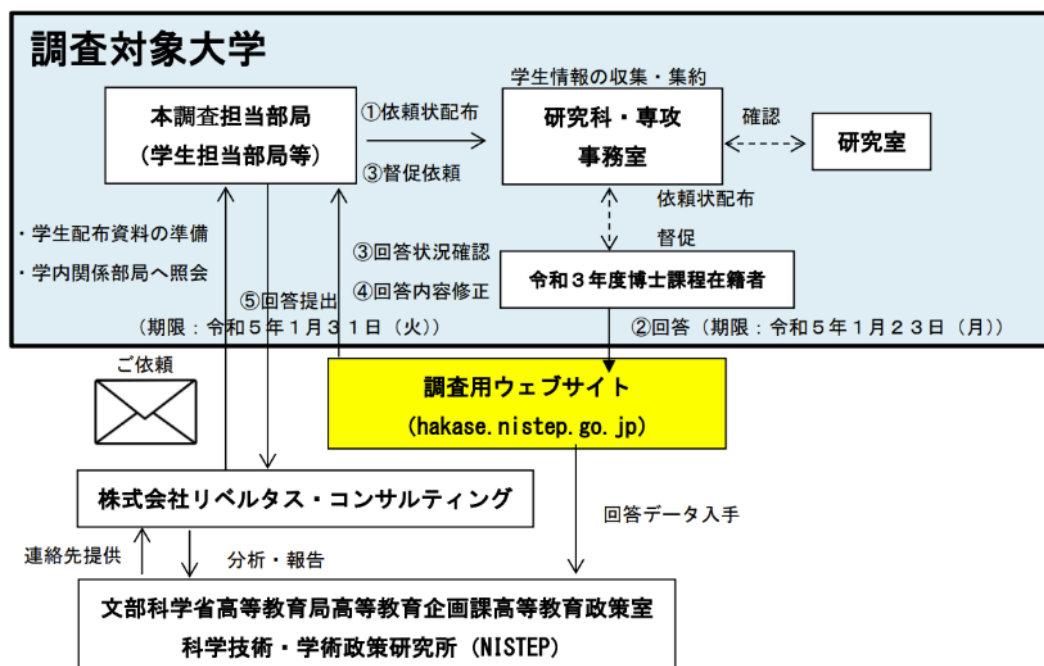
対象とした。ただし、令和3年度全期間の休学者や中途退学者、除籍者は調査対象外としている。

なお、本調査における博士課程とは、前期・後期に区分する博士課程の後期の課程（前期・後期の区分を設けない博士課程についてはこれに相当する3年間、医歯薬獣医学についてはこれに相当する4年間）とした。従って、修士課程、博士前期課程（一貫性博士課程の1・2年次の課程を含む）の学生は調査の対象外とした。また、通信制については対象外とした。

1-2-2 実施体制

本調査は、調査対象大学に対して調査を依頼し、各大学の本調査担当部局（学生担当部局等）から対象学生（令和3年度が博士課程在籍者）に連絡を取り、回答依頼を行った。

基本的な実施体制・フローは下記の通りである。対象学生は調査用ウェブサイトアクセスし、ウェブ回答を行った。ウェブ調査とは独立して、各大学は専攻別回答（調査対象がいる専攻の確認等）をExcelで提出した。また平成25、28、31年度実施調査は、学生の回答内容を各大学がとりまとめるうえ提出していたが、今回の調査では対象学生のウェブ回答のデータを大学でとりまとめるのではなく、直接入手できるようにした。



1-2-3 回答方法

調査用ウェブサイトによる回答回収

1-2-4 調査時期

令和4年12月19日～令和5年2月21日

第2章 調査結果

2-1 回答結果

本調査の各大学及び対象学生の回答状況は、下記の通りである。

図表 2-1 アンケート調査の回答状況

	計	国立大学	公立大学	私立大学
対象数	461	77	69	315
回収数	395	76	56	263
回収率	85.7%	98.7%	81.2%	83.5%

図表 2-2 大学種別にみた回答者数

	博士課程 計		調査対象者数	(回答率)
		うち修了者		
国立大学	8,778	1,814	51,037	17.2%
公立大学	740	162	5,314	13.9%
私立大学	4,648	1,057	18,944	24.5%
計	14,166	3,033	75,295	18.8%

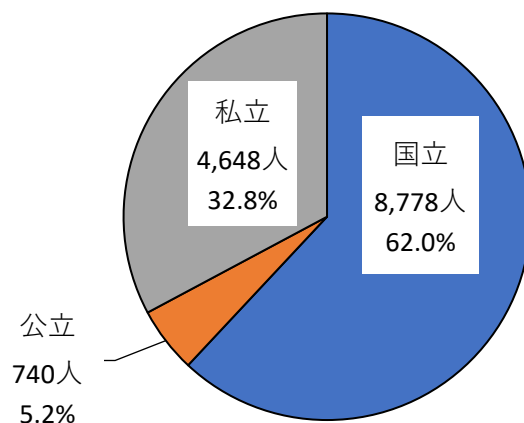
※調査対象数は、令和3年度学校基本調査より。

2-2 回答者の基本属性

2-2-1 国公立

回答者の国公立の区分は、全体の約6割（62.0%）が「国立」である。

図表 2-3 国公立：n=14,166



2-2-2 専攻分野

回答者の専攻分野の種別は、下記の通りである。「保健」が4,487人で最も多い。なお、「商船」は0人であるため、以降のページでは専攻分野から「商船」を除外している。

図表 2-4 専攻分野（全体）：n=14,166

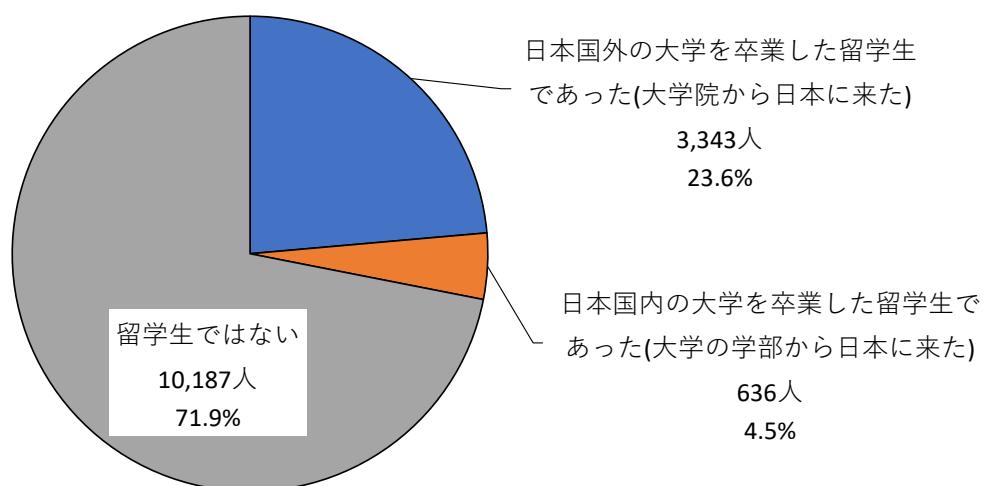
(単位：人)

専攻分野	人数
人文科学	1,187
社会科学	921
理学	1,633
工学	3,017
農学	697
保健	4,487
商船	0
家政	69
教育	507
芸術	160
その他	1,438
無回答	50
計	14,166

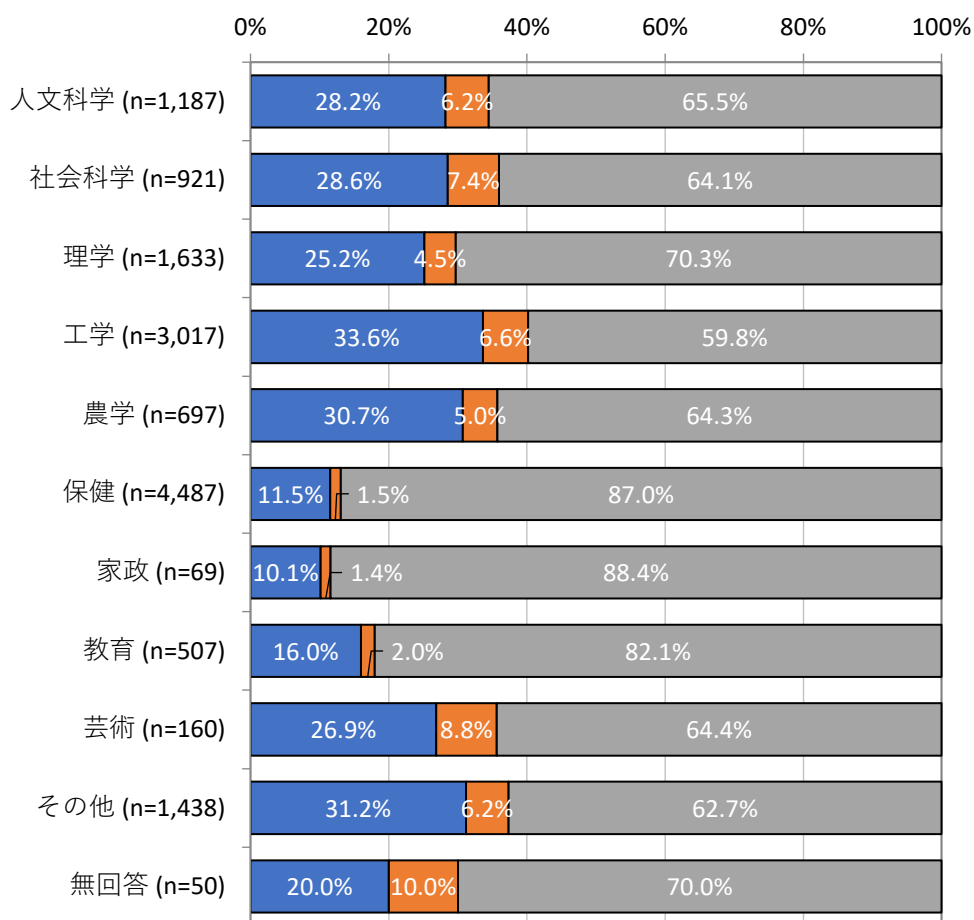
2-2-3 留学生

全体の71.9%が「留学生ではない」と回答している。専攻分野別にみると、「留学生である」の割合が最も高かったのは「工学」の40.2%で、全体の28.1%を上回っている。

図表 2-5 留学生か否か（全体）：n=14,166



図表 2-6 留学生か否か（専攻分野別）

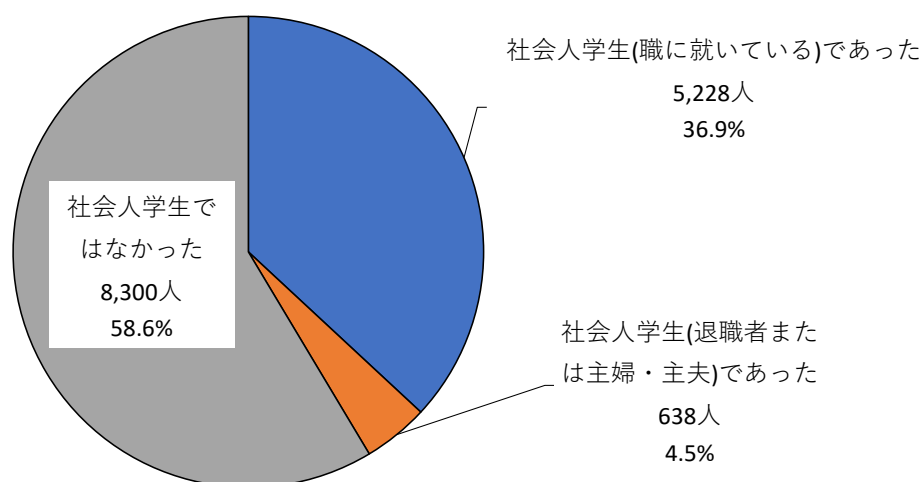


- 日本国外の大学を卒業した留学生であった(大学院から日本に来た)
- 日本国内の大学を卒業した留学生であった(大学の学部から日本に来た)
- 留学生ではない

2-2-4 社会人

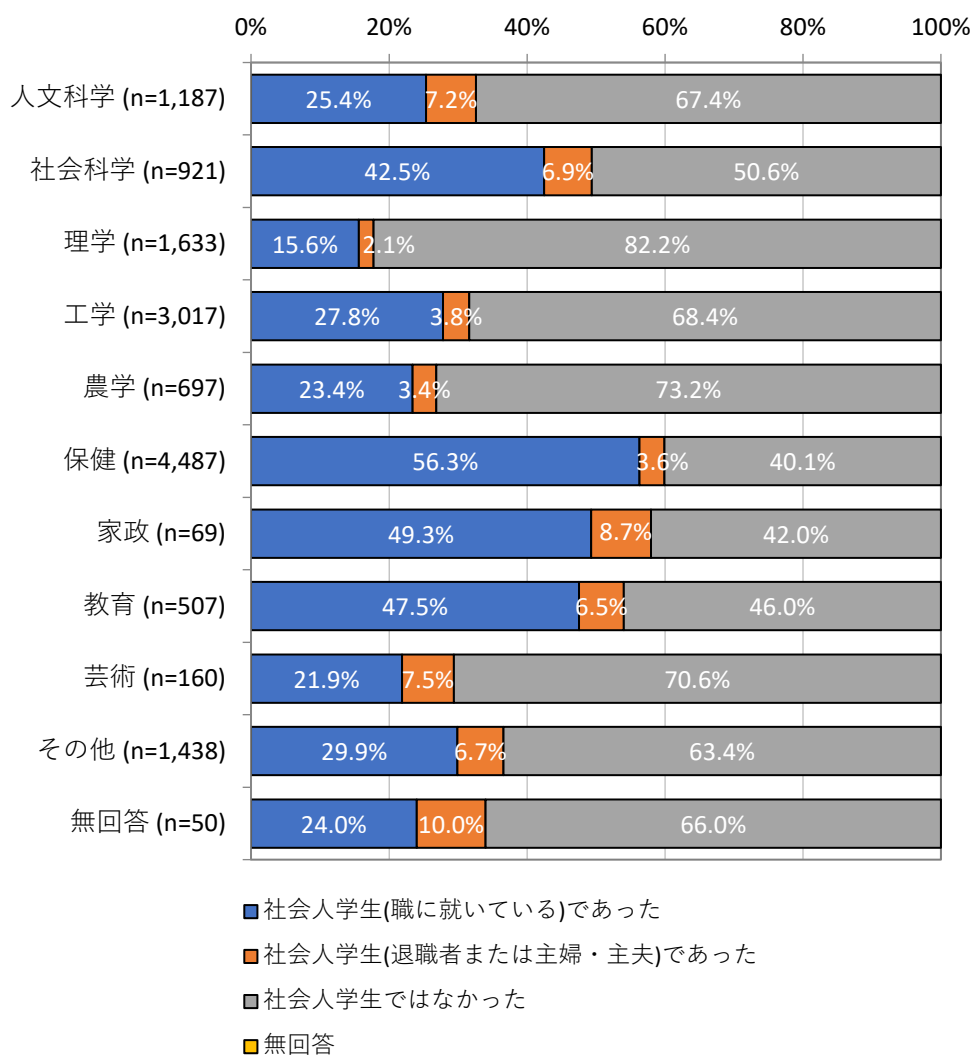
令和3年5月1日時点で社会人学生だったかどうかについてきいたところ、全体の6割弱が「社会人学生ではなかった」(58.6%)と回答している。

図表 2-7 社会人か否か(全体) : n=14,166



※この調査における「社会人」は、令和3年5月1日時点で、①職に就いている者(給料、賃金、その他の経常的な収入を得る仕事に現に就いている者)、②給料、賃金、その他の経常的な仕事を得る仕事から既に退職した者、③主婦・主夫のいずれかに該当する者を指す。なお、臨時的な収入を得る仕事であり、雇用期間が1年未満又は雇用期間の長さに関わらず短時間の勤務(アルバイト・パート等)については、「社会人就業」に該当しないものとしている。

図表 2-8 社会人か否か（専攻分野別）

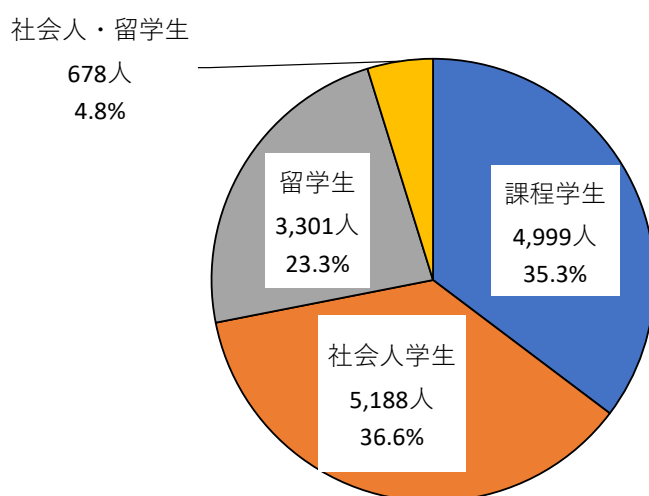


2-2-5 学生種別

「留学生かどうか」と「社会人かどうか」についての質問を組み合わせ、学生種別の状況をみた。

回答者の学生種別は「社会人学生」が 36.6%、次いで「課程学生」が 35.3%とそれぞれ全体の 3 割以上を占めている。

図表 2-9 学生種別 : n=14,166



■ 学生種別の定義

- ・ 課程学生・・・「社会人でない」「留学生でない」
- ・ 社会人学生・・・「社会人である」「留学生でない」
- ・ 留学生・・・「社会人でない」「留学生である」
- ・ 社会人・留学生・・・「社会人である」「留学生である」

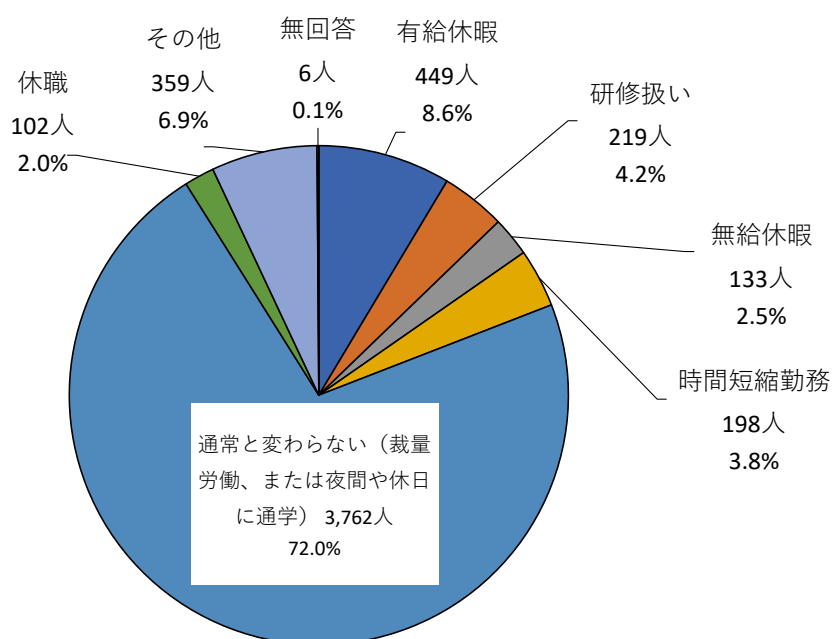
2-3 社会人の就業状況

2-3-1 修学中のサービス上の扱い（社会人で職に就いていた者のみ）

令和3年5月1日時点で、社会人で職に就いていた者の修学中の雇用先におけるサービスの扱いについては、「通常と変わらない（裁量労働、または夜間や休日に通学）」が72.0%で最も割合が高い。

図表 2-10 修学中のサービス上の扱い（全体）：n=5,228

（社会人で職に就いていた者のみ）



図表 2-11 修学中の服務上の扱い（学生種別）（社会人で職に就いていた者のみ）

	全体	有給休暇	研修扱い	無給休暇	時間短縮勤務	通常と変わらない (裁量労働、または夜間 や休日に通学)	休職	その他	無回答
全体	5228 (100.0%)	449 (8.6%)	219 (4.2%)	133 (2.5%)	198 (3.8%)	3762 (72.0%)	102 (2.0%)	359 (6.9%)	6 (0.1%)
社会人学生	4731 (100.0%)	315 (6.7%)	200 (4.2%)	78 (1.6%)	165 (3.5%)	3675 (77.7%)	29 (0.6%)	263 (5.6%)	6 (0.1%)
社会人・留学生	497 (100.0%)	134 (27.0%)	19 (3.8%)	55 (11.1%)	33 (6.6%)	87 (17.5%)	73 (14.7%)	96 (19.3%)	0 (0.0%)

※上段：回答人数

下段：回答割合（以下同様）

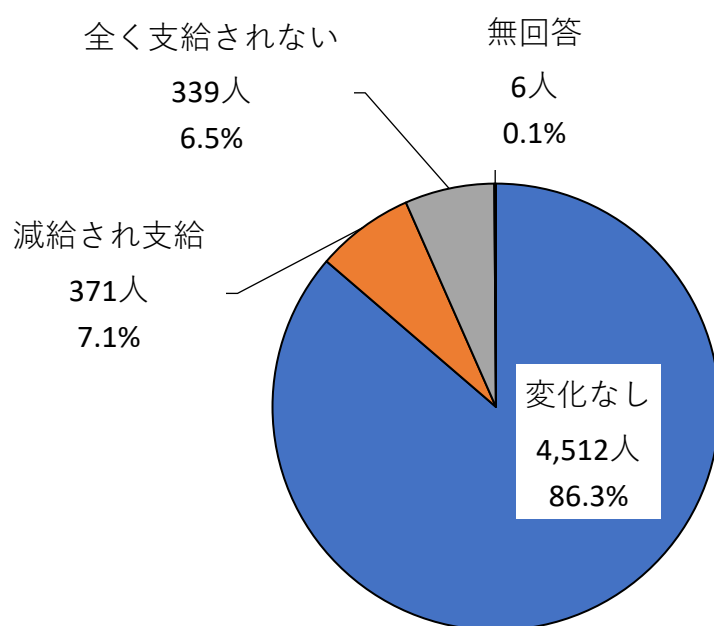
図表 2-12 修学中の服務上の扱い（専攻分野別）（社会人で職に就いていた者のみ）

	全体	有給休暇	研修扱い	無給休暇	時間短縮勤務	通常と変わらない (裁量労働、または夜間 や休日に通学)	休職	その他	無回答
全体	5228 (100.0%)	449 (8.6%)	219 (4.2%)	133 (2.5%)	198 (3.8%)	3762 (72.0%)	102 (2.0%)	359 (6.9%)	6 (0.1%)
人文科学	301 (100.0%)	18 (6.0%)	8 (2.7%)	9 (3.0%)	6 (2.0%)	211 (70.1%)	12 (4.0%)	37 (12.3%)	0 (0.0%)
社会科学	391 (100.0%)	29 (7.4%)	7 (1.8%)	12 (3.1%)	15 (3.8%)	285 (72.9%)	11 (2.8%)	32 (8.2%)	0 (0.0%)
理学	255 (100.0%)	35 (13.7%)	12 (4.7%)	9 (3.5%)	2 (0.8%)	172 (67.5%)	9 (3.5%)	16 (6.3%)	0 (0.0%)
工学	839 (100.0%)	93 (11.1%)	45 (5.4%)	28 (3.3%)	13 (1.5%)	563 (67.1%)	27 (3.2%)	70 (8.3%)	0 (0.0%)
農学	163 (100.0%)	28 (17.2%)	14 (8.6%)	7 (4.3%)	6 (3.7%)	78 (47.9%)	8 (4.9%)	22 (13.5%)	0 (0.0%)
保健	2527 (100.0%)	165 (6.5%)	105 (4.2%)	54 (2.1%)	136 (5.4%)	1920 (76.0%)	23 (0.9%)	119 (4.7%)	5 (0.2%)
家政	34 (100.0%)	7 (20.6%)	2 (5.9%)	2 (5.9%)	0 (0.0%)	22 (64.7%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)
教育	241 (100.0%)	19 (7.9%)	7 (2.9%)	4 (1.7%)	3 (1.2%)	193 (80.1%)	2 (0.8%)	13 (5.4%)	0 (0.0%)
芸術	35 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	4 (11.4%)	25 (71.4%)	1 (2.9%)	4 (11.4%)	0 (0.0%)
その他	430 (100.0%)	54 (12.6%)	18 (4.2%)	8 (1.9%)	13 (3.0%)	283 (65.8%)	8 (1.9%)	45 (10.5%)	1 (0.2%)
無回答	12 (100.0%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (83.3%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

2-3-2 博士課程在学を契機とした雇用先からの基本給の取り扱いの状況（社会人で職に就いていた者のみ）

令和3年5月1日時点で、社会人で職に就いていた者の博士課程在学を契機とした雇用先からの基本給の取り扱いの状況については、「変化なし」が86.3%と最も割合が高い。

図表 2-13 博士課程在学を契機とした基本給取り扱いの状況（全体）：n=5,228
（社会人で職に就いていた者のみ）



図表 2-14 博士課程在学を契機とした基本給取り扱いの状況（学生種別）

（社会人で職に就いていた者のみ）

	全体	変化なし	減給され支給	全く支給されない	無回答
全体	5228 (100.0%)	4512 (86.3%)	371 (7.1%)	339 (6.5%)	6 (0.1%)
社会人学生	4731 (100.0%)	4315 (91.2%)	240 (5.1%)	170 (3.6%)	6 (0.1%)
社会人・留学生	497 (100.0%)	197 (39.6%)	131 (26.4%)	169 (34.0%)	0 (0.0%)

図表 2-15 博士課程在学を契機とした基本給取り扱いの状況（専攻分野別）

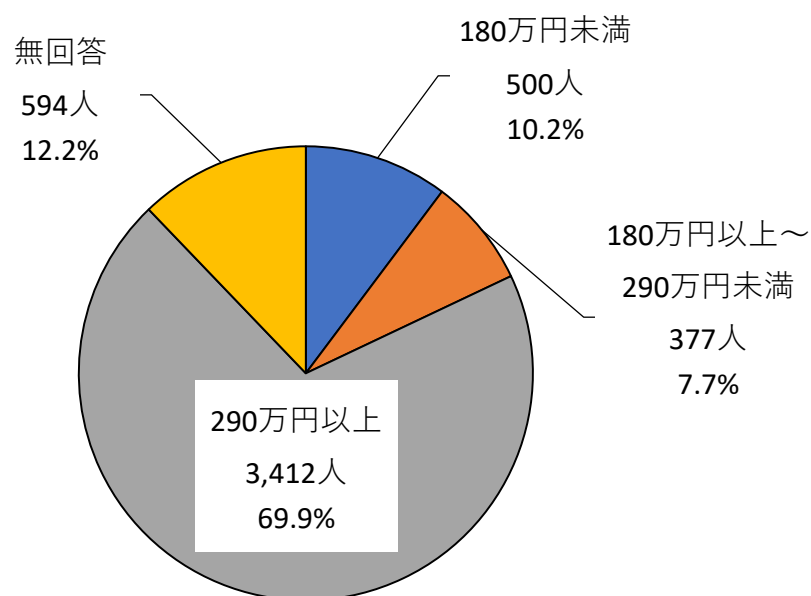
（社会人で職に就いていた者のみ）

	全体	変化なし	減給され支給	全く支給されない	無回答
全体	5228 (100.0%)	4512 (86.3%)	371 (7.1%)	339 (6.5%)	6 (0.1%)
人文科学	301 (100.0%)	246 (81.7%)	25 (8.3%)	30 (10.0%)	0 (0.0%)
社会科学	391 (100.0%)	342 (87.5%)	23 (5.9%)	26 (6.6%)	0 (0.0%)
理学	255 (100.0%)	212 (83.1%)	27 (10.6%)	16 (6.3%)	0 (0.0%)
工学	839 (100.0%)	698 (83.2%)	47 (5.6%)	94 (11.2%)	0 (0.0%)
農学	163 (100.0%)	133 (81.6%)	10 (6.1%)	20 (12.3%)	0 (0.0%)
保健	2527 (100.0%)	2220 (87.9%)	200 (7.9%)	102 (4.0%)	5 (0.2%)
家政	34 (100.0%)	32 (94.1%)	1 (2.9%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)
教育	241 (100.0%)	222 (92.1%)	6 (2.5%)	13 (5.4%)	0 (0.0%)
芸術	35 (100.0%)	29 (82.9%)	2 (5.7%)	4 (11.4%)	0 (0.0%)
その他	430 (100.0%)	367 (85.3%)	30 (7.0%)	32 (7.4%)	1 (0.2%)
無回答	12 (100.0%)	11 (91.7%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)

2-3-3 雇用先から得られた年間の収入額の範囲（社会人で職に就いており基本給の支給を受けていた者のみ）

令和3年5月1日時点で、社会人で職に就いており、基本給の支給を受けていた者の雇用先から得られた年間の収入の範囲額については、「290万円以上」が69.9%と最も割合が高い。

図表 2-16 雇用先から得られた年間の収入額の範囲（全体）：n=4,883
（社会人で職に就いており基本給の支給を受けていた者のみ）



図表 2-17 雇用先から得られた年間の収入額の範囲（学生種別）

（社会人で職に就いており基本給の支給を受けていた者のみ）

	全体	180万円未満	180万円以上 ～290万円未 満	290万円以上	無回答
全体	4883 (100.0%)	500 (10.2%)	377 (7.7%)	3412 (69.9%)	594 (12.2%)
社会人学生	4555 (100.0%)	308 (6.8%)	331 (7.3%)	3356 (73.7%)	560 (12.3%)
社会人・留学生	328 (100.0%)	192 (58.5%)	46 (14.0%)	56 (17.1%)	34 (10.4%)

図表 2-18 雇用先から得られた年間の収入額の範囲（専攻分野別）

（社会人で職に就いており基本給の支給を受けていた者のみ）

	全体	180万円未満	180万円以上 ～290万円未 満	290万円以上	無回答
全体	4883 (100.0%)	500 (10.2%)	377 (7.7%)	3412 (69.9%)	594 (12.2%)
人文科学	271 (100.0%)	50 (18.5%)	54 (19.9%)	138 (50.9%)	29 (10.7%)
社会科学	365 (100.0%)	46 (12.6%)	31 (8.5%)	240 (65.8%)	48 (13.2%)
理学	239 (100.0%)	32 (13.4%)	16 (6.7%)	163 (68.2%)	28 (11.7%)
工学	745 (100.0%)	79 (10.6%)	34 (4.6%)	554 (74.4%)	78 (10.5%)
農学	143 (100.0%)	18 (12.6%)	10 (7.0%)	99 (69.2%)	16 (11.2%)
保健	2420 (100.0%)	195 (8.1%)	176 (7.3%)	1742 (72.0%)	307 (12.7%)
家政	33 (100.0%)	2 (6.1%)	0 (0.0%)	25 (75.8%)	6 (18.2%)
教育	228 (100.0%)	12 (5.3%)	20 (8.8%)	158 (69.3%)	38 (16.7%)
芸術	31 (100.0%)	9 (29.0%)	5 (16.1%)	15 (48.4%)	2 (6.5%)
その他	397 (100.0%)	57 (14.4%)	31 (7.8%)	268 (67.5%)	41 (10.3%)
無回答	11 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (90.9%)	1 (9.1%)

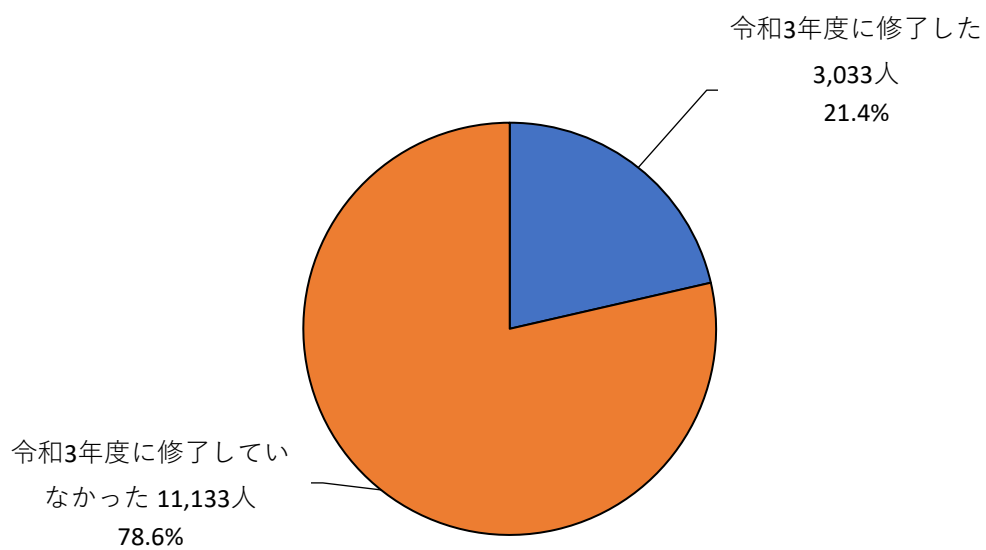
2-4 学位取得状況

2-4-1 博士課程の修了状況

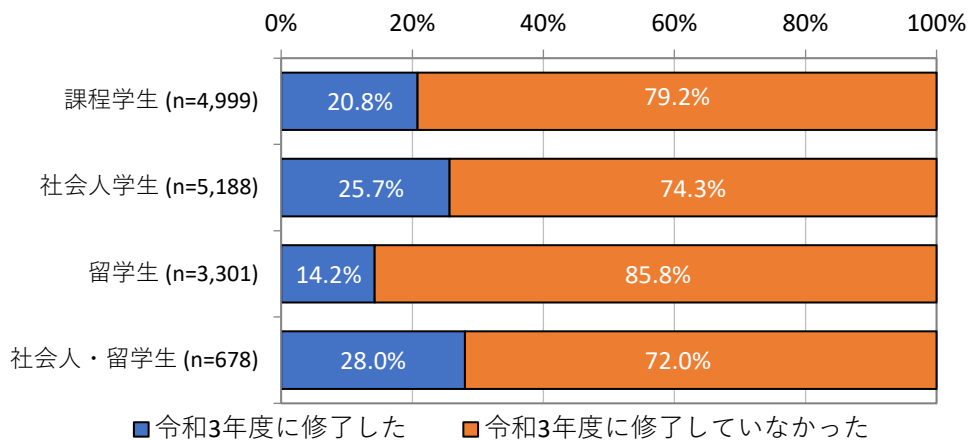
博士課程の修了状況については、約 2 割が「令和 3 年度に修了した」と回答している。

専攻分野別にみると、「留学生」について、「令和 3 年度に修了していなかった」の割合が全体より高い。

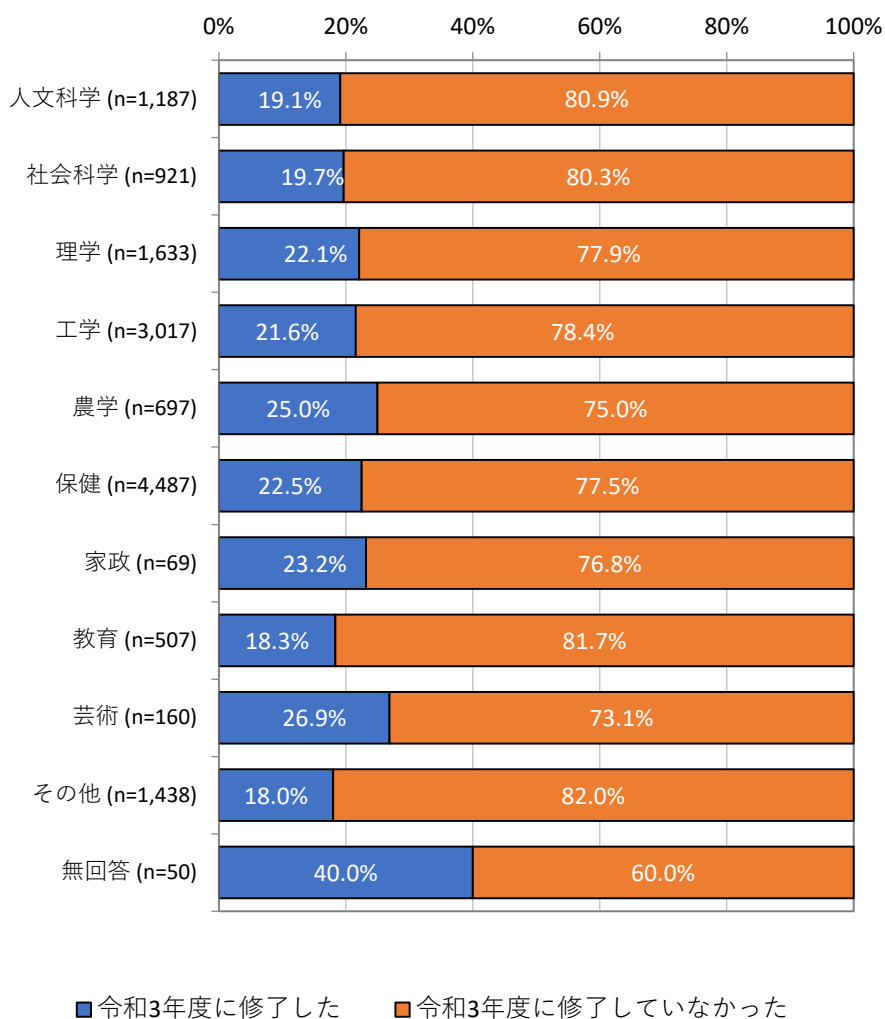
図表 2-19 博士課程の修了状況（全体）：n=14,166



図表 2-20 博士課程の修了状況（学生種別）



図表 2-21 博士課程の修了状況（専攻分野別）

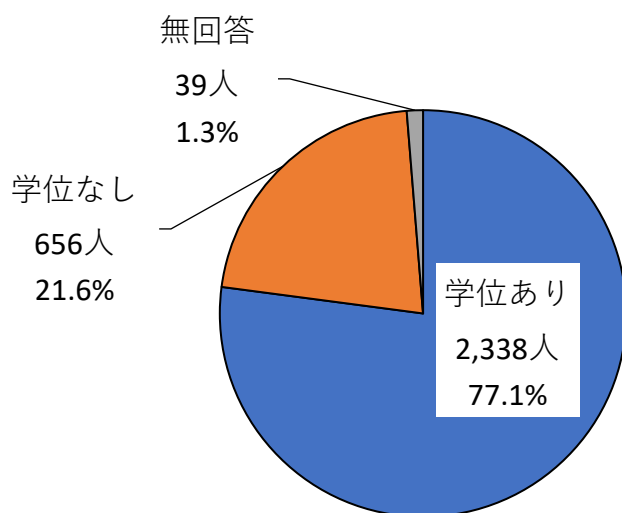


2-4-2 博士課程の学位の取得有無（令和3年度修了生のみ）

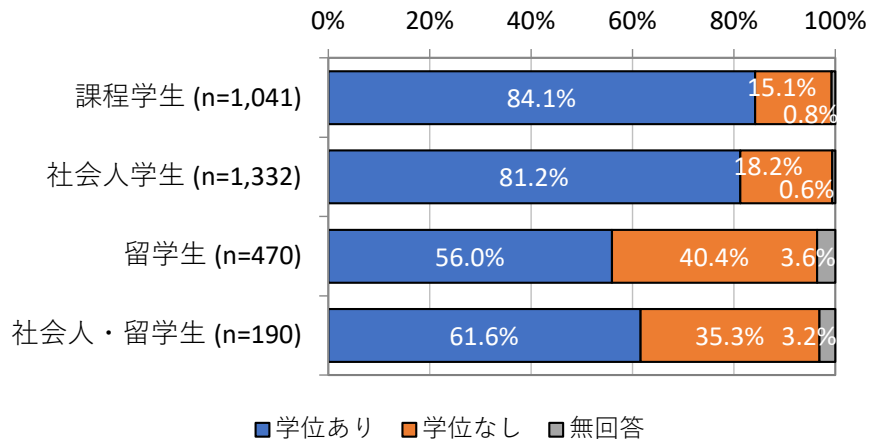
令和4年3月末時点における博士課程の学位の取得有無については、令和3年度修了生のうち、約8割が「学位あり」と回答している。

専攻分野別にみると、「人文科学」、「社会科学」「教育」について、「学位なし」の回答が3割以上と全体より高い。

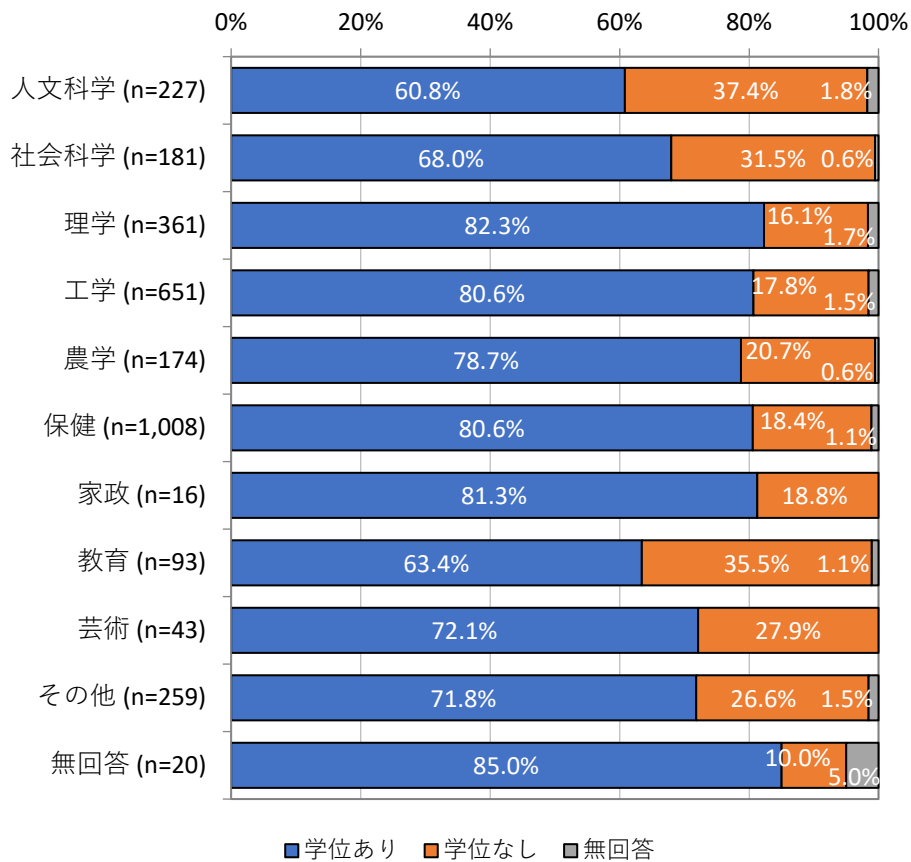
図表 2-22 博士課程の学位の取得有無（全体）：n=3,033
（令和3年度修了生のみ）



図表 2-23 博士課程の学位の取得有無（学生種別）
（令和3年度修了生のみ）



図表 2-24 博士課程の学位の取得有無（専攻分野別）
（令和3年度修了生のみ）

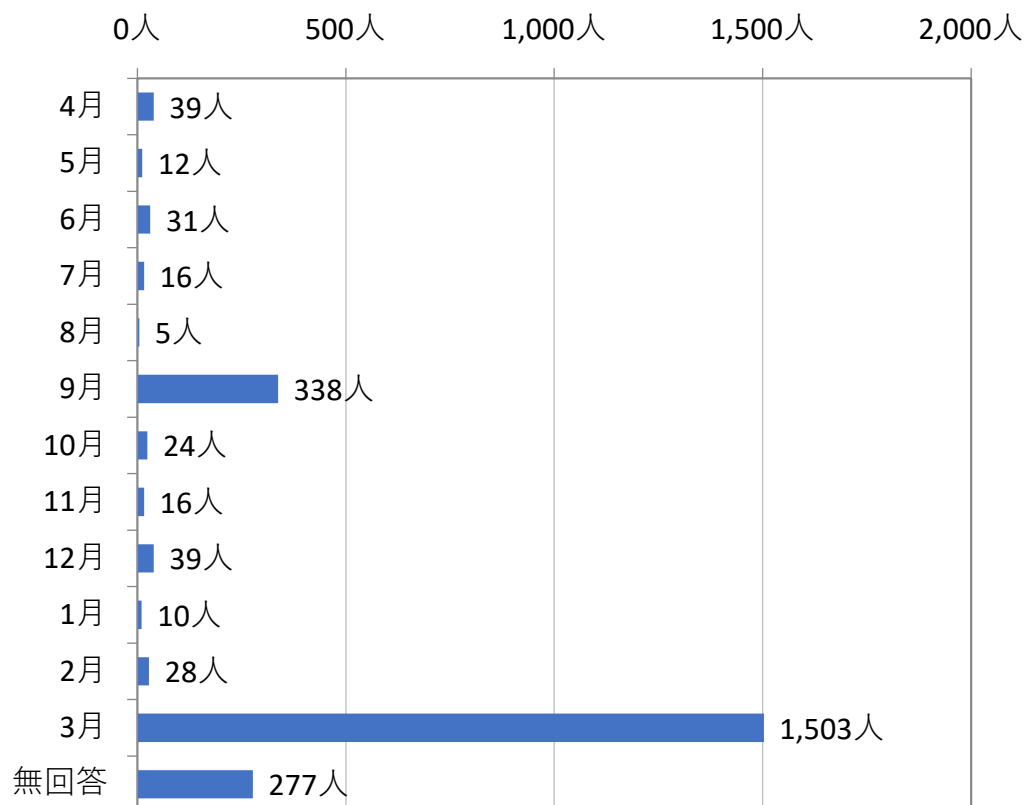


2-4-3 学位を取得した月（令和3年度修了生、かつ学位取得者のみ）

令和3年度に博士課程を修了し学位を取得した者の学位を取得した月は、3月が最も多く、次いで9月が多い。

図表 2-25 学位を取得した月：n=2,338

（令和3年度修了生、かつ学位取得者のみ）

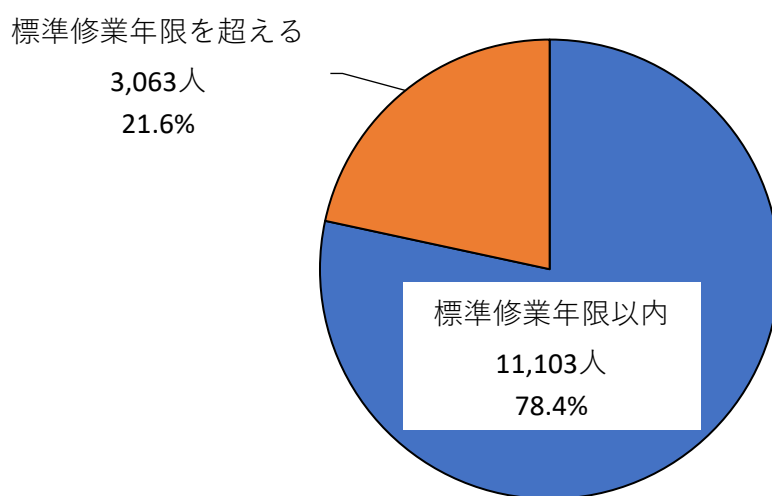


2-4-4 博士課程(後期)の在籍期間

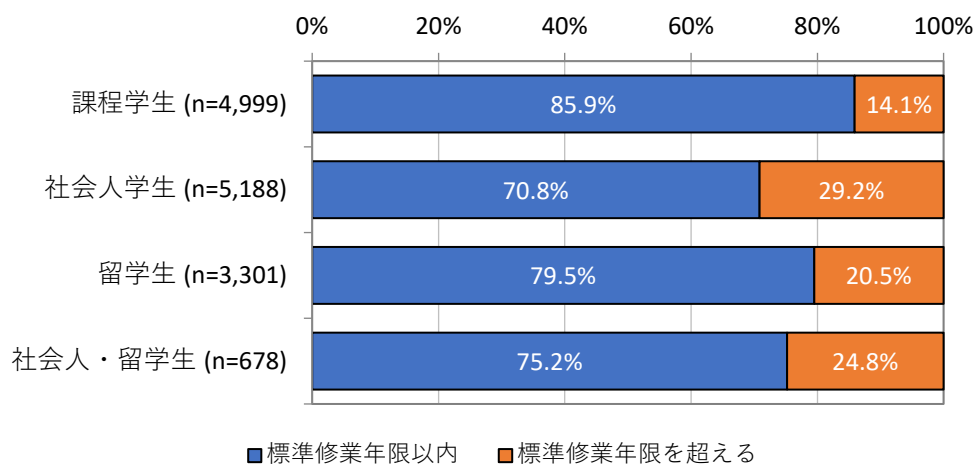
令和 3 年度末時点（修了者は修了時点）における博士課程（後期）の在籍期間が標準修業年限以内か否かについては、「標準修業年限以内」の回答が 78.4%となっている。

専攻分野別にみると、「人文科学」、「社会科学」について、「標準修業年限を超える」の回答が 3 割以上と全体より高い。

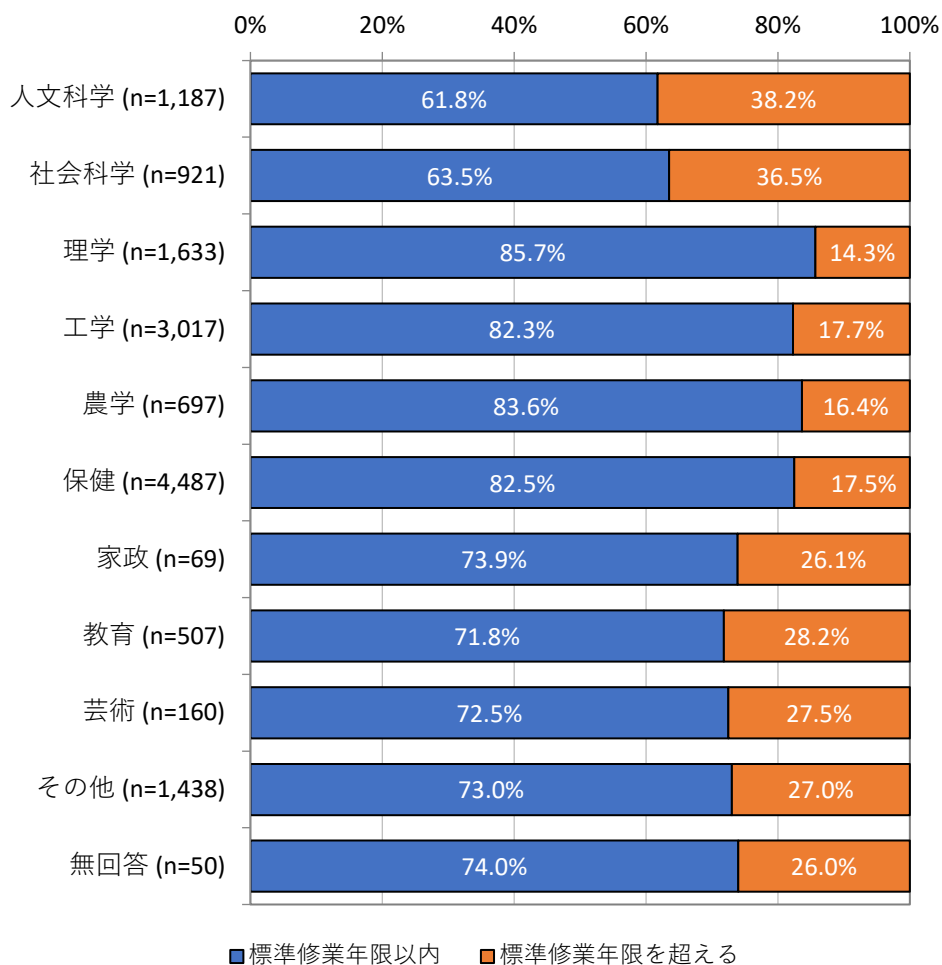
図表 2-26 博士課程(後期)在籍の標準修業年限以内か否か（全体）：n=14,166



図表 2-27 博士課程(後期)在籍の標準修業年限以内か否か (学生種別)



図表 2-28 博士課程(後期)在籍の標準修業年限以内か否か (専攻分野別)



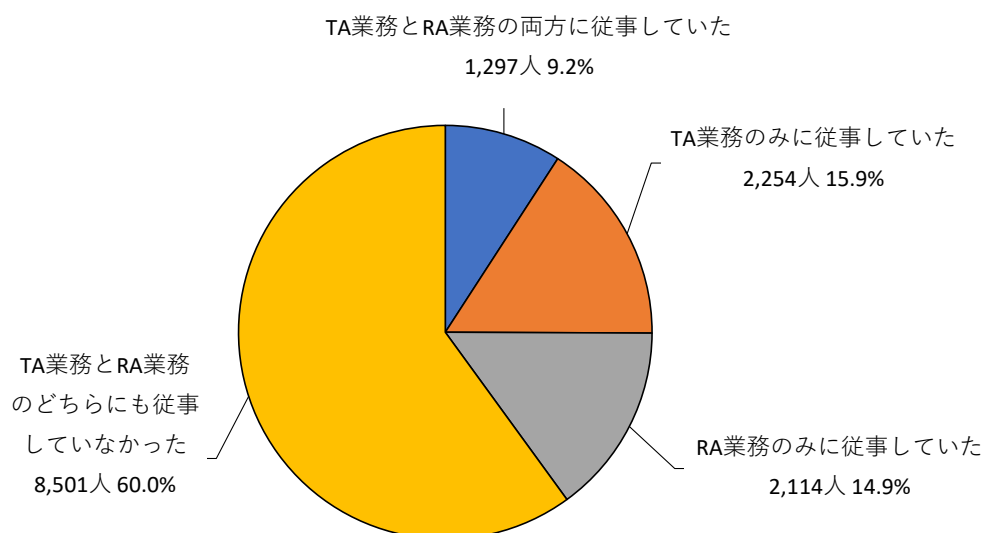
2-5 TA・RAの実施状況

2-5-1 TA、RA業務による給与・謝金の受給の有無

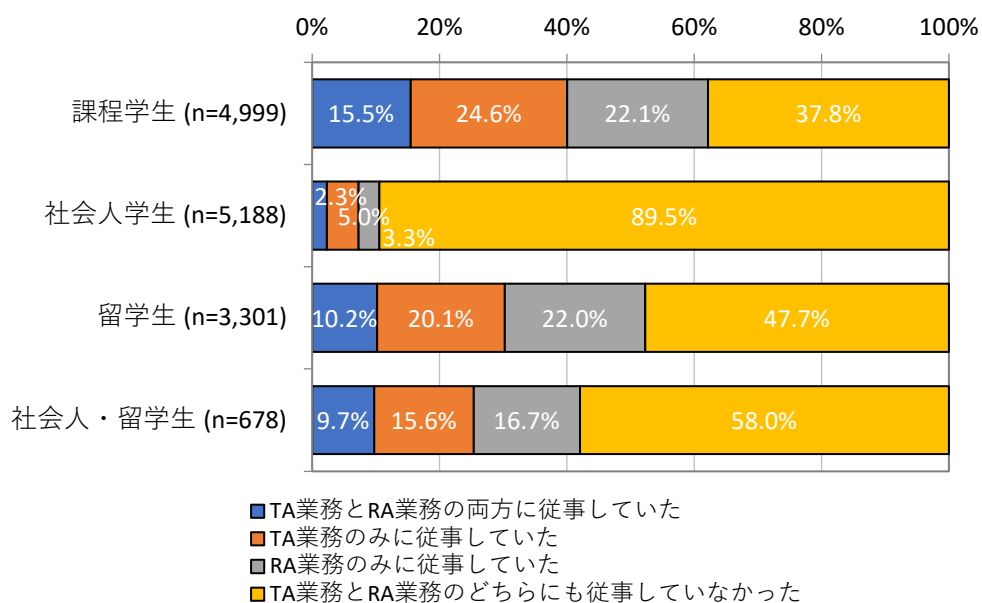
令和3年度におけるTA、RA業務による給与・謝金の受給の有無については、「TA業務とRA業務のどちらにも従事していなかった」が60.0%で、最も割合が高い。

学生種別では、社会人学生において「TA業務とRA業務のどちらにも従事していなかった」割合が高い。

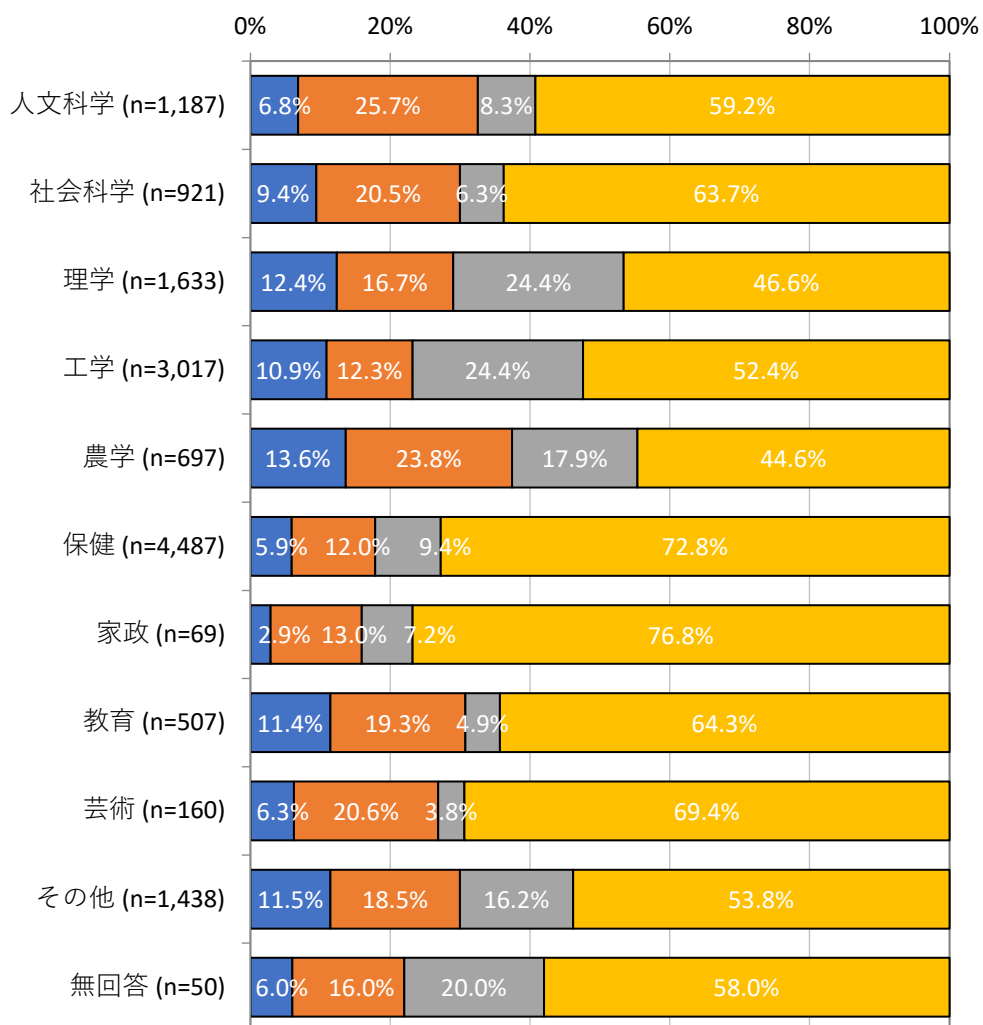
図表 2-29 TA、RA業務による給与・謝金の受給の有無（全体）：n=14,166



図表 2-30 TA、RA 業務による給与・謝金の受給の有無（学生種別）



図表 2-31 TA、RA 業務による給与・謝金の受給の有無（専攻分野別）



- TA業務とRA業務の両方に従事していた
- TA業務のみに従事していた
- RA業務のみに従事していた
- TA業務とRA業務のどちらにも従事していなかった
- 無回答

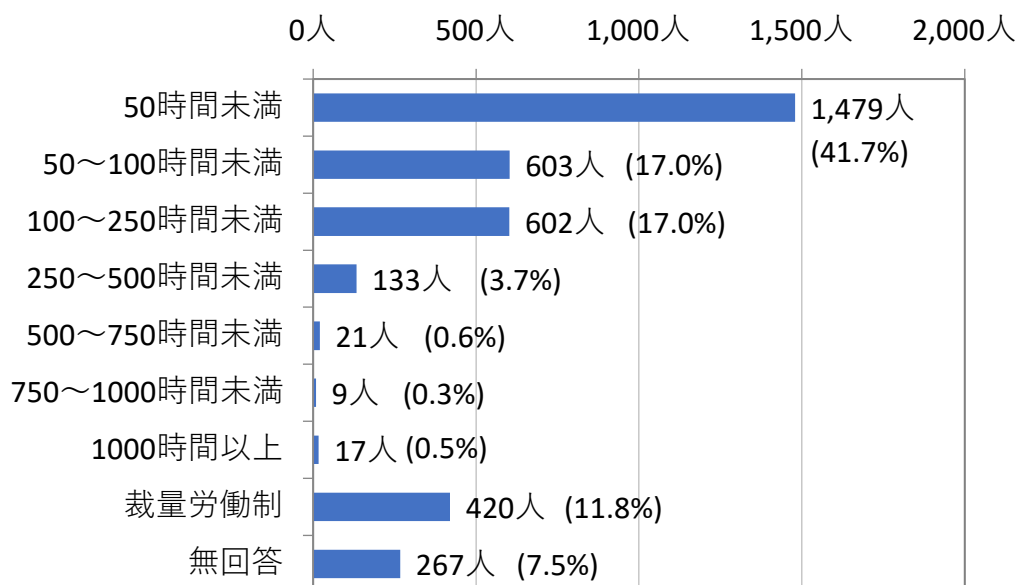
2-5-2 TA 業務の詳細 (TA 業務従事者のみ)

(1)TA 業務の従事時間 (年間)

年間の TA 業務の従事時間については「50 時間未満」が 41.7%と最も割合が高く、次いで「50～100 時間未満」と「100～250 時間未満」がそれぞれ 17.0%となっている。

図表 2-32 TA 業務の従事時間 (全体) : n=3,551

(TA 業務従事者のみ)



図表 2-33 TA 業務の従事時間（学生種別）

(TA 業務従事者のみ)

	全体	50時間未満	50～100時間 未満	100～250時 間未満	250～500時 間未満	500～750時 間未満	750～1000 時間未満	1000時間以 上	裁量労働制	無回答
全体	3551 (100.0%)	1479 (41.7%)	603 (17.0%)	602 (17.0%)	133 (3.7%)	21 (0.6%)	9 (0.3%)	17 (0.5%)	420 (11.8%)	267 (7.5%)
課程学生	2002 (100.0%)	820 (41.0%)	369 (18.4%)	361 (18.0%)	83 (4.1%)	15 (0.7%)	4 (0.2%)	8 (0.4%)	206 (10.3%)	136 (6.8%)
社会人学生	378 (100.0%)	169 (44.7%)	37 (9.8%)	46 (12.2%)	15 (4.0%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)	3 (0.8%)	66 (17.5%)	41 (10.8%)
留学生	999 (100.0%)	418 (41.8%)	172 (17.2%)	173 (17.3%)	30 (3.0%)	5 (0.5%)	3 (0.3%)	6 (0.6%)	120 (12.0%)	72 (7.2%)
社会人・留学生	172 (100.0%)	72 (41.9%)	25 (14.5%)	22 (12.8%)	5 (2.9%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	28 (16.3%)	18 (10.5%)

図表 2-34 TA 業務の従事時間（専攻分野別）

(TA 業務従事者のみ)

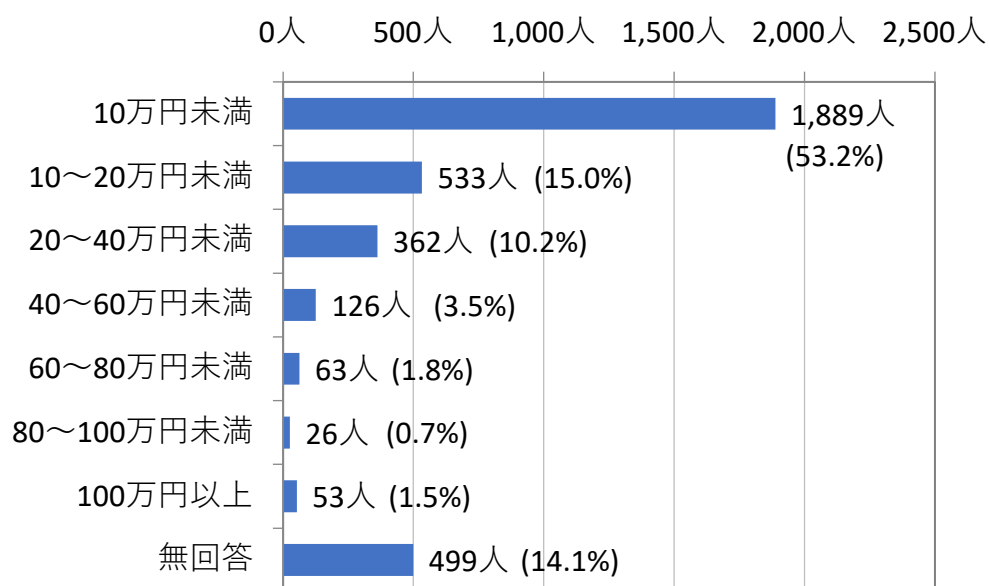
	全体	50時間未満	50～100時間 未満	100～250時 間未満	250～500時 間未満	500～750時 間未満	750～1000 時間未満	1000時間以 上	裁量労働制	無回答
全体	3551 (100.0%)	1479 (41.7%)	603 (17.0%)	602 (17.0%)	133 (3.7%)	21 (0.6%)	9 (0.3%)	17 (0.5%)	420 (11.8%)	267 (7.5%)
人文科学	386 (100.0%)	182 (47.2%)	75 (19.4%)	39 (10.1%)	9 (2.3%)	6 (1.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	55 (14.2%)	20 (5.2%)
社会科学	276 (100.0%)	94 (34.1%)	50 (18.1%)	64 (23.2%)	16 (5.8%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	33 (12.0%)	18 (6.5%)
理学	474 (100.0%)	191 (40.3%)	87 (18.4%)	86 (18.1%)	14 (3.0%)	0 (0.0%)	3 (0.6%)	1 (0.2%)	55 (11.6%)	37 (7.8%)
工学	700 (100.0%)	296 (42.3%)	112 (16.0%)	143 (20.4%)	27 (3.9%)	6 (0.9%)	3 (0.4%)	4 (0.6%)	67 (9.6%)	42 (6.0%)
農学	261 (100.0%)	113 (43.3%)	49 (18.8%)	32 (12.3%)	13 (5.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	31 (11.9%)	23 (8.8%)
保健	802 (100.0%)	293 (36.5%)	110 (13.7%)	164 (20.4%)	26 (3.2%)	4 (0.5%)	2 (0.2%)	11 (1.4%)	108 (13.5%)	84 (10.5%)
家政	11 (100.0%)	4 (36.4%)	3 (27.3%)	2 (18.2%)	2 (18.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
教育	156 (100.0%)	77 (49.4%)	28 (17.9%)	15 (9.6%)	5 (3.2%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	19 (12.2%)	11 (7.1%)
芸術	43 (100.0%)	14 (32.6%)	7 (16.3%)	4 (9.3%)	6 (14.0%)	1 (2.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (20.9%)	2 (4.7%)
その他	431 (100.0%)	207 (48.0%)	81 (18.8%)	52 (12.1%)	15 (3.5%)	2 (0.5%)	1 (0.2%)	1 (0.2%)	42 (9.7%)	30 (7.0%)
無回答	11 (100.0%)	8 (72.7%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)

(2)TA 業務の受給額 (年間)

年間の TA 業務の受給額については、「10 万円未満」が 53.2%と最も割合が高く、次いで「10～20 万円未満」(15.0%)、「20～40 万円未満」(10.2%) となっている。

図表 2-35 TA 業務の受給額 (全体) : n=3,551

(TA 業務従事者のみ)



図表 2-36 TA 業務の受給額（学生種別）

（TA 業務従事者のみ）

	全体	10万円未満	10～20万円 未満	20～40万円 未満	40～60万円 未満	60～80万円 未満	80～100万円 未満	100万円以上	無回答
全体	3551 (100.0%)	1889 (53.2%)	533 (15.0%)	362 (10.2%)	126 (3.5%)	63 (1.8%)	26 (0.7%)	53 (1.5%)	499 (14.1%)
課程学生	2002 (100.0%)	1021 (51.0%)	314 (15.7%)	237 (11.8%)	80 (4.0%)	49 (2.4%)	20 (1.0%)	33 (1.6%)	248 (12.4%)
社会人学生	378 (100.0%)	172 (45.5%)	38 (10.1%)	31 (8.2%)	13 (3.4%)	4 (1.1%)	0 (0.0%)	7 (1.9%)	113 (29.9%)
留学生	999 (100.0%)	603 (60.4%)	157 (15.7%)	82 (8.2%)	28 (2.8%)	7 (0.7%)	6 (0.6%)	10 (1.0%)	106 (10.6%)
社会人・留学生	172 (100.0%)	93 (54.1%)	24 (14.0%)	12 (7.0%)	5 (2.9%)	3 (1.7%)	0 (0.0%)	3 (1.7%)	32 (18.6%)

図表 2-37 TA 業務の受給額（専攻分野別）

（TA 業務従事者のみ）

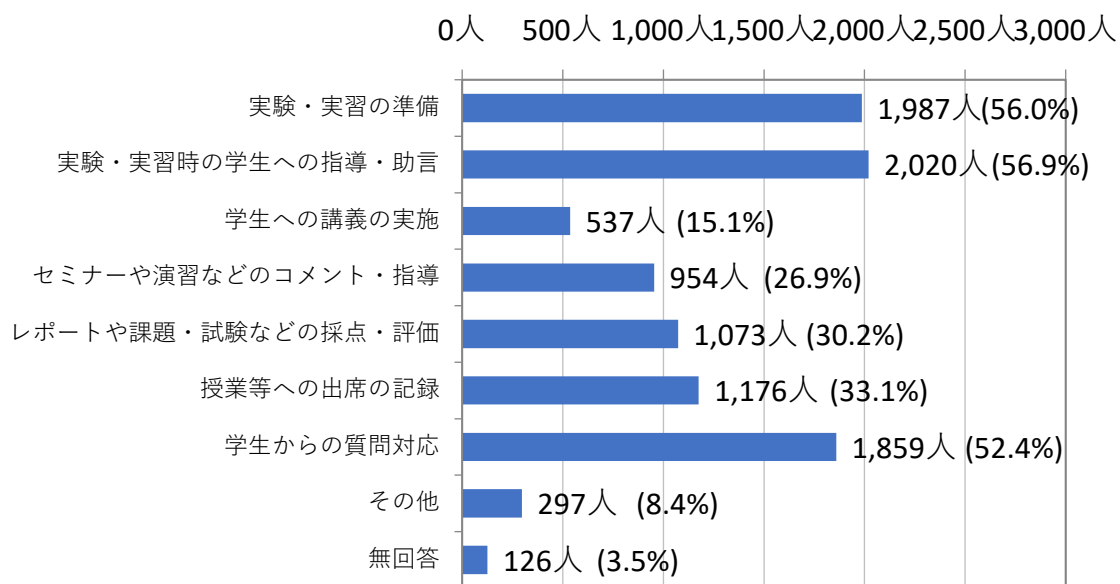
	全体	10万円未満	10～20万円 未満	20～40万円 未満	40～60万円 未満	60～80万円 未満	80～100万円 未満	100万円以上	無回答
全体	3551 (100.0%)	1889 (53.2%)	533 (15.0%)	362 (10.2%)	126 (3.5%)	63 (1.8%)	26 (0.7%)	53 (1.5%)	499 (14.1%)
人文学	386 (100.0%)	225 (58.3%)	67 (17.4%)	29 (7.5%)	11 (2.8%)	7 (1.8%)	4 (1.0%)	5 (1.3%)	38 (9.8%)
社会科学	276 (100.0%)	135 (48.9%)	52 (18.8%)	30 (10.9%)	14 (5.1%)	4 (1.4%)	3 (1.1%)	7 (2.5%)	31 (11.2%)
理学	474 (100.0%)	246 (51.9%)	68 (14.3%)	64 (13.5%)	19 (4.0%)	3 (0.6%)	0 (0.0%)	13 (2.7%)	61 (12.9%)
工学	700 (100.0%)	366 (52.3%)	119 (17.0%)	70 (10.0%)	30 (4.3%)	17 (2.4%)	16 (2.3%)	9 (1.3%)	73 (10.4%)
農学	261 (100.0%)	164 (62.8%)	28 (10.7%)	18 (6.9%)	6 (2.3%)	10 (3.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	35 (13.4%)
保健	802 (100.0%)	333 (41.5%)	123 (15.3%)	96 (12.0%)	29 (3.6%)	18 (2.2%)	3 (0.4%)	11 (1.4%)	189 (23.6%)
家政	11 (100.0%)	8 (72.7%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)
教育	156 (100.0%)	105 (67.3%)	14 (9.0%)	11 (7.1%)	5 (3.2%)	3 (1.9%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)	17 (10.9%)
芸術	43 (100.0%)	23 (53.5%)	5 (11.6%)	8 (18.6%)	2 (4.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (11.6%)
その他	431 (100.0%)	274 (63.6%)	57 (13.2%)	34 (7.9%)	9 (2.1%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	6 (1.4%)	50 (11.6%)
無回答	11 (100.0%)	10 (90.9%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

(3)TA 業務の内容

TA 業務の内容については、「実験・実習時の学生への指導・助言」が 56.9%と最も割合が高く、次いで「実験・実習の準備」(56.0%)、「学生からの質問対応」(52.4%)となっている。

図表 2-38 TA 業務の内容 (複数回答) (全体) : n=3,551

(TA 業務従事者のみ)



図表 2-39 TA 業務の内容（複数回答）（学生種別）

（TA 業務従事者のみ）

	全体	実験・実習の準備	実験・実習時の学生への指導・助言	学生への講義の実施	セミナーや演習などのコメント・指導	レポートや課題・試験などの採点・評価	授業等への出席の記録	学生からの質問対応	その他(具体的に)	無回答
全体	3551 (2.82)	1987 (56.0%)	2020 (56.9%)	537 (15.1%)	954 (26.9%)	1073 (30.2%)	1176 (33.1%)	1859 (52.4%)	297 (8.4%)	126 (3.5%)
課程学生	2002 (2.88)	1229 (61.4%)	1272 (63.5%)	259 (12.9%)	483 (24.1%)	588 (29.4%)	623 (31.1%)	1118 (55.8%)	138 (6.9%)	50 (2.5%)
社会人学生	378 (2.67)	170 (45.0%)	205 (54.2%)	82 (21.7%)	86 (22.8%)	117 (31.0%)	101 (26.7%)	182 (48.1%)	42 (11.1%)	23 (6.1%)
留学生	999 (2.78)	498 (49.8%)	458 (45.8%)	168 (16.8%)	334 (33.4%)	319 (31.9%)	384 (38.4%)	479 (47.9%)	95 (9.5%)	44 (4.4%)
社会人・留学生	172 (2.80)	90 (52.3%)	85 (49.4%)	28 (16.3%)	51 (29.7%)	49 (28.5%)	68 (39.5%)	80 (46.5%)	22 (12.8%)	9 (5.2%)

※全体値の下の () 内の数字は、1人あたりの回答件数を示す。複数回答の場合は、以下同様。

図表 2-40 TA 業務の内容（複数回答）（専攻分野別）

（TA 業務従事者のみ）

	全体	実験・実習の準備	実験・実習時の学生への指導・助言	学生への講義の実施	セミナーや演習などのコメント・指導	レポートや課題・試験などの採点・評価	授業等への出席の記録	学生からの質問対応	その他(具体的に)	無回答
全体	3551 (2.82)	1987 (56.0%)	2020 (56.9%)	537 (15.1%)	954 (26.9%)	1073 (30.2%)	1176 (33.1%)	1859 (52.4%)	297 (8.4%)	126 (3.5%)
人文科学	386 (2.57)	139 (36.0%)	137 (35.5%)	43 (11.1%)	115 (29.8%)	113 (29.3%)	163 (42.2%)	219 (56.7%)	51 (13.2%)	12 (3.1%)
社会科学	276 (2.67)	80 (29.0%)	70 (25.4%)	48 (17.4%)	101 (36.6%)	116 (42.0%)	117 (42.4%)	152 (55.1%)	41 (14.9%)	13 (4.7%)
理学	474 (2.89)	287 (60.5%)	311 (65.6%)	52 (11.0%)	131 (27.6%)	173 (36.5%)	122 (25.7%)	260 (54.9%)	23 (4.9%)	12 (2.5%)
工学	700 (3.07)	426 (60.9%)	457 (65.3%)	114 (16.3%)	190 (27.1%)	255 (36.4%)	235 (33.6%)	410 (58.6%)	41 (5.9%)	21 (3.0%)
農学	261 (2.79)	199 (76.2%)	184 (70.5%)	27 (10.3%)	58 (22.2%)	52 (19.9%)	64 (24.5%)	114 (43.7%)	21 (8.0%)	10 (3.8%)
保健	802 (2.71)	547 (68.2%)	565 (70.4%)	128 (16.0%)	163 (20.3%)	162 (20.2%)	191 (23.8%)	340 (42.4%)	44 (5.5%)	34 (4.2%)
家政	11 (2.55)	7 (63.6%)	7 (63.6%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)	2 (18.2%)	1 (9.1%)	8 (72.7%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)
教育	156 (3.20)	85 (54.5%)	81 (51.9%)	38 (24.4%)	42 (26.9%)	62 (39.7%)	79 (50.6%)	90 (57.7%)	17 (10.9%)	5 (3.2%)
芸術	43 (2.84)	24 (55.8%)	25 (58.1%)	6 (14.0%)	11 (25.6%)	4 (9.3%)	19 (44.2%)	25 (58.1%)	7 (16.3%)	1 (2.3%)
その他	431 (2.78)	189 (43.9%)	179 (41.5%)	79 (18.3%)	136 (31.6%)	130 (30.2%)	182 (42.2%)	235 (54.5%)	51 (11.8%)	17 (3.9%)
無回答	11 (2.64)	4 (36.4%)	4 (36.4%)	1 (9.1%)	6 (54.5%)	4 (36.4%)	3 (27.3%)	6 (54.5%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)

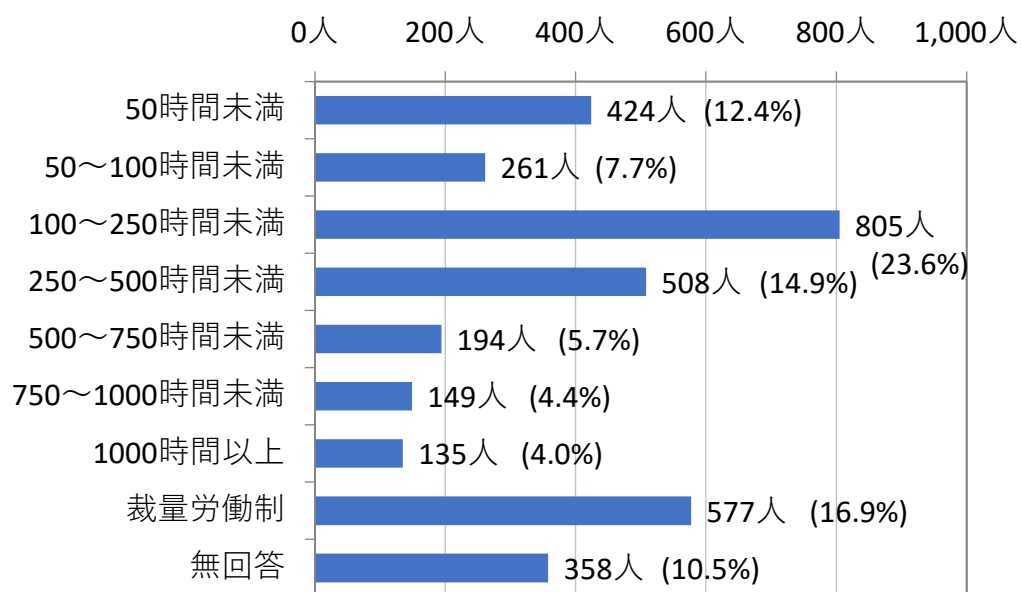
2-5-3 RA 業務の詳細 (RA 業務従事者のみ)

(1) RA 業務の従事時間 (年間)

年間の RA 業務の従事時間については「100～250 時間未満」が 23.6%と最も割合が高く、次いで「裁量労働制」(16.9%)となっている。また、TA 業務の従事時間では最も割合が高かった「50 時間未満」の回答について、RA 業務では 12.4%にとどまっている。

図表 2-41 RA 業務の従事時間 (全体) : n=3,411

(RA 業務従事者のみ)



図表 2-42 RA 業務の従事時間（学生種別）

（RA 業務従事者のみ）

	全体	50時間未満	50～100時間 未満	100～250時 間未満	250～500時 間未満	500～750時 間未満	750～1000 時間未満	1000時間以 上	裁量労働制	無回答
全体	3411 (100.0%)	424 (12.4%)	261 (7.7%)	805 (23.6%)	508 (14.9%)	194 (5.7%)	149 (4.4%)	135 (4.0%)	577 (16.9%)	358 (10.5%)
課程学生	1878 (100.0%)	223 (11.9%)	137 (7.3%)	438 (23.3%)	309 (16.5%)	111 (5.9%)	88 (4.7%)	67 (3.6%)	326 (17.4%)	179 (9.5%)
社会人学生	290 (100.0%)	39 (13.4%)	23 (7.9%)	65 (22.4%)	35 (12.1%)	9 (3.1%)	7 (2.4%)	9 (3.1%)	56 (19.3%)	47 (16.2%)
留学生	1064 (100.0%)	129 (12.1%)	91 (8.6%)	264 (24.8%)	145 (13.6%)	67 (6.3%)	49 (4.6%)	50 (4.7%)	165 (15.5%)	104 (9.8%)
社会人・留学生	179 (100.0%)	33 (18.4%)	10 (5.6%)	38 (21.2%)	19 (10.6%)	7 (3.9%)	5 (2.8%)	9 (5.0%)	30 (16.8%)	28 (15.6%)

図表 2-43 RA 業務の従事時間（専攻分野別）

（RA 業務従事者のみ）

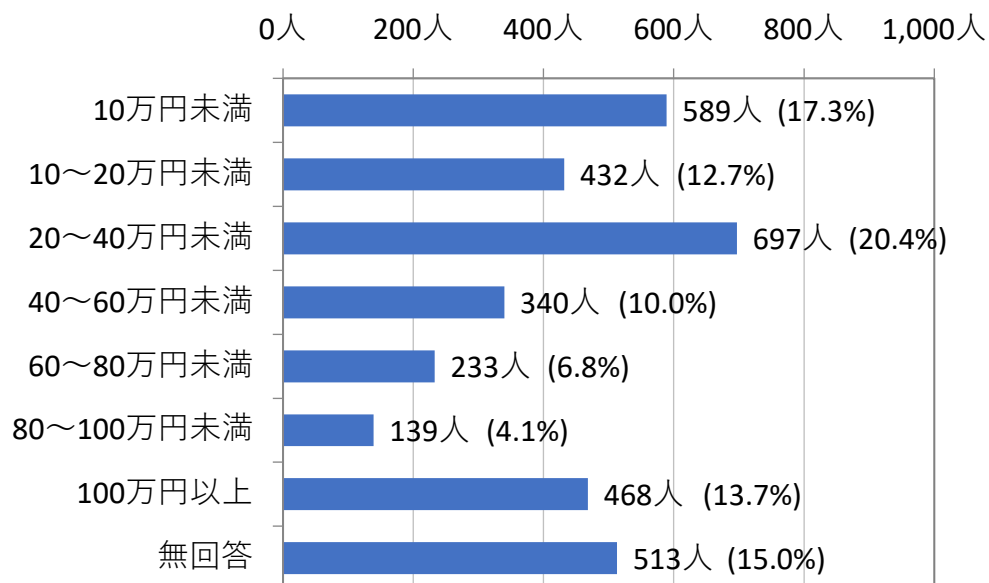
	全体	50時間未満	50～100時間 未満	100～250時 間未満	250～500時 間未満	500～750時 間未満	750～1000 時間未満	1000時間以 上	裁量労働制	無回答
全体	3411 (100.0%)	424 (12.4%)	261 (7.7%)	805 (23.6%)	508 (14.9%)	194 (5.7%)	149 (4.4%)	135 (4.0%)	577 (16.9%)	358 (10.5%)
人文科学	179 (100.0%)	34 (19.0%)	17 (9.5%)	29 (16.2%)	33 (18.4%)	9 (5.0%)	4 (2.2%)	2 (1.1%)	29 (16.2%)	22 (12.3%)
社会科学	145 (100.0%)	28 (19.3%)	17 (11.7%)	31 (21.4%)	14 (9.7%)	8 (5.5%)	2 (1.4%)	4 (2.8%)	22 (15.2%)	19 (13.1%)
理学	600 (100.0%)	61 (10.2%)	34 (5.7%)	130 (21.7%)	77 (12.8%)	45 (7.5%)	44 (7.3%)	38 (6.3%)	103 (17.2%)	68 (11.3%)
工学	1065 (100.0%)	114 (10.7%)	80 (7.5%)	229 (21.5%)	196 (18.4%)	78 (7.3%)	45 (4.2%)	45 (4.2%)	195 (18.3%)	83 (7.8%)
農学	220 (100.0%)	29 (13.2%)	14 (6.4%)	57 (25.9%)	39 (17.7%)	10 (4.5%)	3 (1.4%)	3 (1.4%)	38 (17.3%)	27 (12.3%)
保健	685 (100.0%)	72 (10.5%)	51 (7.4%)	168 (24.5%)	96 (14.0%)	29 (4.2%)	48 (7.0%)	24 (3.5%)	108 (15.8%)	89 (13.0%)
家政	7 (100.0%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)
教育	83 (100.0%)	15 (18.1%)	6 (7.2%)	33 (39.8%)	5 (6.0%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	12 (14.5%)	11 (13.3%)
芸術	16 (100.0%)	4 (25.0%)	3 (18.8%)	3 (18.8%)	3 (18.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (18.8%)	0 (0.0%)
その他	398 (100.0%)	63 (15.8%)	37 (9.3%)	121 (30.4%)	44 (11.1%)	14 (3.5%)	3 (0.8%)	18 (4.5%)	61 (15.3%)	37 (9.3%)
無回答	13 (100.0%)	3 (23.1%)	1 (7.7%)	2 (15.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (7.7%)	5 (38.5%)	1 (7.7%)

(2)RA 業務の受給額 (年間)

年間の RA 業務の受給額については、「20～40 万円未満」が 20.4%と最も割合が高く、次いで「10 万円未満」(17.3%)、「100 万円以上」(13.7%) となっている。「100 万円以上」の回答は TA 業務では 1.5%であったが、RA 業務では 13.7%となっている。

図表 2-44 RA 業務の受給額 : n=3,411

(RA 業務従事者のみ)



図表 2-45 RA 業務の受給額（学生種別）

（RA 業務従事者のみ）

	全体	10万円未満	10～20万円 未満	20～40万円 未満	40～60万円 未満	60～80万円 未満	80～100万円 未満	100万円以上	無回答
全体	3411 (100.0%)	589 (17.3%)	432 (12.7%)	697 (20.4%)	340 (10.0%)	233 (6.8%)	139 (4.1%)	468 (13.7%)	513 (15.0%)
課程学生	1878 (100.0%)	290 (15.4%)	221 (11.8%)	381 (20.3%)	214 (11.4%)	133 (7.1%)	86 (4.6%)	284 (15.1%)	269 (14.3%)
社会人学生	290 (100.0%)	55 (19.0%)	25 (8.6%)	56 (19.3%)	22 (7.6%)	10 (3.4%)	12 (4.1%)	28 (9.7%)	82 (28.3%)
留学生	1064 (100.0%)	199 (18.7%)	165 (15.5%)	230 (21.6%)	91 (8.6%)	79 (7.4%)	37 (3.5%)	134 (12.6%)	129 (12.1%)
社会人・留学生	179 (100.0%)	45 (25.1%)	21 (11.7%)	30 (16.8%)	13 (7.3%)	11 (6.1%)	4 (2.2%)	22 (12.3%)	33 (18.4%)

図表 2-46 RA 業務の受給額（専攻分野別）

（RA 業務従事者のみ）

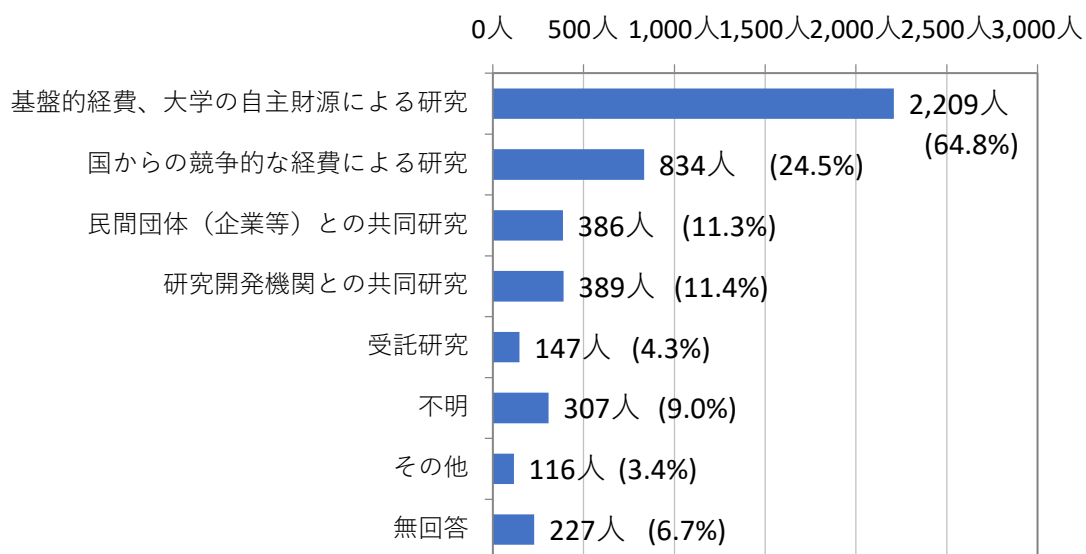
	全体	10万円未満	10～20万円 未満	20～40万円 未満	40～60万円 未満	60～80万円 未満	80～100万円 未満	100万円以上	無回答
全体	3411 (100.0%)	589 (17.3%)	432 (12.7%)	697 (20.4%)	340 (10.0%)	233 (6.8%)	139 (4.1%)	468 (13.7%)	513 (15.0%)
人文学	179 (100.0%)	43 (24.0%)	18 (10.1%)	30 (16.8%)	29 (16.2%)	12 (6.7%)	7 (3.9%)	16 (8.9%)	24 (13.4%)
社会科学	145 (100.0%)	45 (31.0%)	16 (11.0%)	21 (14.5%)	8 (5.5%)	8 (5.5%)	2 (1.4%)	16 (11.0%)	29 (20.0%)
理学	600 (100.0%)	67 (11.2%)	67 (11.2%)	107 (17.8%)	50 (8.3%)	45 (7.5%)	28 (4.7%)	146 (24.3%)	90 (15.0%)
工学	1065 (100.0%)	166 (15.6%)	134 (12.6%)	220 (20.7%)	130 (12.2%)	96 (9.0%)	48 (4.5%)	148 (13.9%)	123 (11.5%)
農学	220 (100.0%)	42 (19.1%)	39 (17.7%)	37 (16.8%)	17 (7.7%)	17 (7.7%)	7 (3.2%)	17 (7.7%)	44 (20.0%)
保健	685 (100.0%)	108 (15.8%)	86 (12.6%)	146 (21.3%)	65 (9.5%)	35 (5.1%)	27 (3.9%)	81 (11.8%)	137 (20.0%)
家政	7 (100.0%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (28.6%)
教育	83 (100.0%)	18 (21.7%)	16 (19.3%)	24 (28.9%)	5 (6.0%)	4 (4.8%)	1 (1.2%)	2 (2.4%)	13 (15.7%)
芸術	16 (100.0%)	7 (43.8%)	5 (31.3%)	1 (6.3%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (12.5%)
その他	398 (100.0%)	87 (21.9%)	47 (11.8%)	108 (27.1%)	32 (8.0%)	16 (4.0%)	18 (4.5%)	41 (10.3%)	49 (12.3%)
無回答	13 (100.0%)	4 (30.8%)	3 (23.1%)	3 (23.1%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)

(3)RA 業務の内容

RA 業務の内容については、「基盤的経費、大学の自主財源による研究」が 64.8%と最も割合が高く、次いで「国からの競争的な経費による研究」(24.5%) となっている。

図表 2-47 RA 業務の内容 (複数回答) (全体) : n=3,411

(RA 業務従事者のみ)



図表 2-48 RA 業務の内容（複数回答）（学生種別）

（RA 業務従事者のみ）

	全体	基盤的経費、 大学の自主財 源による研究	国からの競争 的経費によ る研究	民間団体（企 業等）との共 同研究	研究開発機関 との共同研究	受託研究	不明	その他(具体的 に)	無回答
全体	3411 (1.35)	2209 (64.8%)	834 (24.5%)	386 (11.3%)	389 (11.4%)	147 (4.3%)	307 (9.0%)	116 (3.4%)	227 (6.7%)
課程学生	1878 (1.35)	1213 (64.6%)	546 (29.1%)	190 (10.1%)	194 (10.3%)	73 (3.9%)	137 (7.3%)	63 (3.4%)	112 (6.0%)
社会人学生	290 (1.26)	162 (55.9%)	62 (21.4%)	33 (11.4%)	21 (7.2%)	8 (2.8%)	24 (8.3%)	9 (3.1%)	45 (15.5%)
留学生	1064 (1.36)	714 (67.1%)	180 (16.9%)	135 (12.7%)	152 (14.3%)	54 (5.1%)	125 (11.7%)	35 (3.3%)	57 (5.4%)
社会人・留学生	179 (1.51)	120 (67.0%)	46 (25.7%)	28 (15.6%)	22 (12.3%)	12 (6.7%)	21 (11.7%)	9 (5.0%)	13 (7.3%)

図表 2-49 RA 業務の内容（複数回答）（専攻分野別）

（RA 業務従事者のみ）

	全体	基盤的経費、 大学の自主財 源による研究	国からの競争 的経費によ る研究	民間団体（企 業等）との共 同研究	研究開発機関 との共同研究	受託研究	不明	その他(具体的 に)	無回答
全体	3411 (1.35)	2209 (64.8%)	834 (24.5%)	386 (11.3%)	389 (11.4%)	147 (4.3%)	307 (9.0%)	116 (3.4%)	227 (6.7%)
人文科学	179 (1.17)	95 (53.1%)	37 (20.7%)	5 (2.8%)	11 (6.1%)	8 (4.5%)	21 (11.7%)	11 (6.1%)	21 (11.7%)
社会科学	145 (1.23)	87 (60.0%)	33 (22.8%)	10 (6.9%)	7 (4.8%)	9 (6.2%)	16 (11.0%)	7 (4.8%)	10 (6.9%)
理学	600 (1.32)	382 (63.7%)	152 (25.3%)	63 (10.5%)	75 (12.5%)	21 (3.5%)	43 (7.2%)	29 (4.8%)	24 (4.0%)
工学	1065 (1.37)	690 (64.8%)	228 (21.4%)	171 (16.1%)	139 (13.1%)	54 (5.1%)	99 (9.3%)	29 (2.7%)	50 (4.7%)
農学	220 (1.40)	141 (64.1%)	71 (32.3%)	24 (10.9%)	24 (10.9%)	8 (3.6%)	20 (9.1%)	5 (2.3%)	15 (6.8%)
保健	685 (1.44)	495 (72.3%)	186 (27.2%)	65 (9.5%)	82 (12.0%)	13 (1.9%)	62 (9.1%)	18 (2.6%)	62 (9.1%)
家政	7 (1.29)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (57.1%)
教育	83 (1.41)	48 (57.8%)	25 (30.1%)	10 (12.0%)	11 (13.3%)	7 (8.4%)	11 (13.3%)	1 (1.2%)	4 (4.8%)
芸術	16 (1.13)	4 (25.0%)	2 (12.5%)	0 (0.0%)	1 (6.3%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (62.5%)
その他	398 (1.33)	258 (64.8%)	96 (24.1%)	37 (9.3%)	37 (9.3%)	26 (6.5%)	35 (8.8%)	16 (4.0%)	23 (5.8%)
無回答	13 (1.15)	6 (46.2%)	3 (23.1%)	0 (0.0%)	2 (15.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (30.8%)

2-6 アルバイトまたは副業の状況

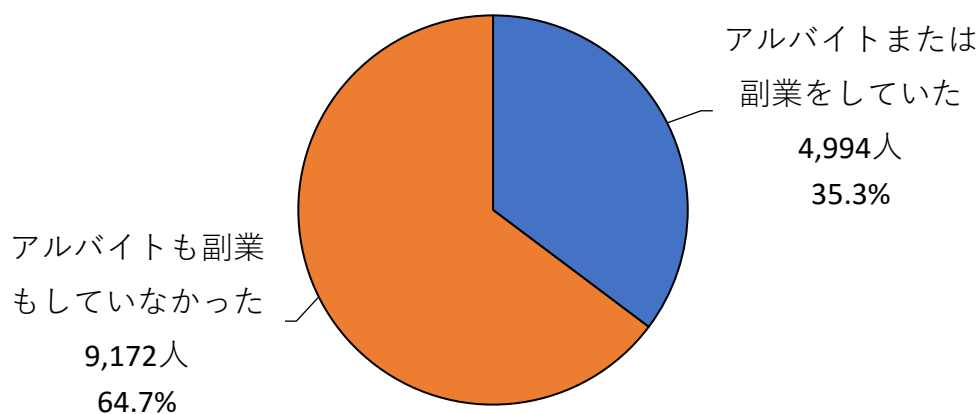
2-6-1 アルバイトまたは副業の実施状況

令和3年度のアルバイトまたは副業の実施状況（TA業務・RA業務を除く）は、「アルバイトも副業もしていなかった」が64.7%となっており、「アルバイトまたは副業をしていた」（35.3%）よりも多い。

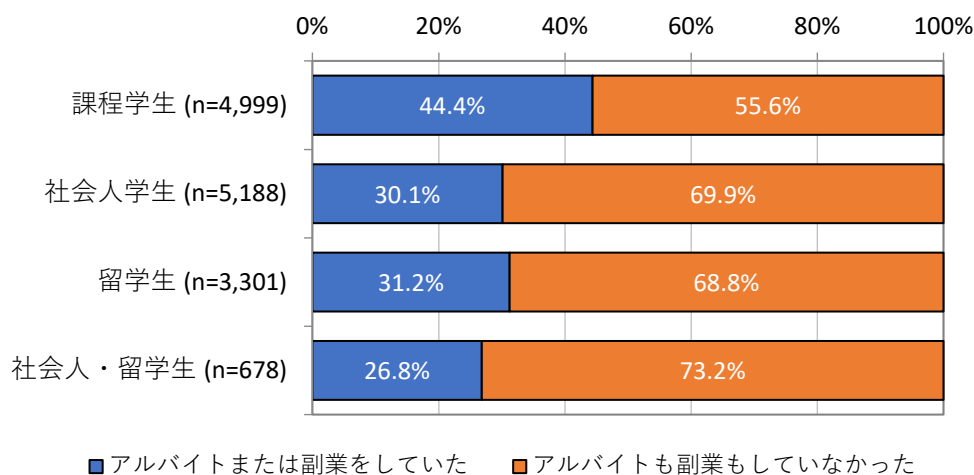
学生種別にみると、「課程学生」について「アルバイトまたは副業をしていた」の回答の割合が4割以上と全体より高い。

図表 2-50 アルバイトまたは副業の実施状況（TA業務・RA業務を除く）

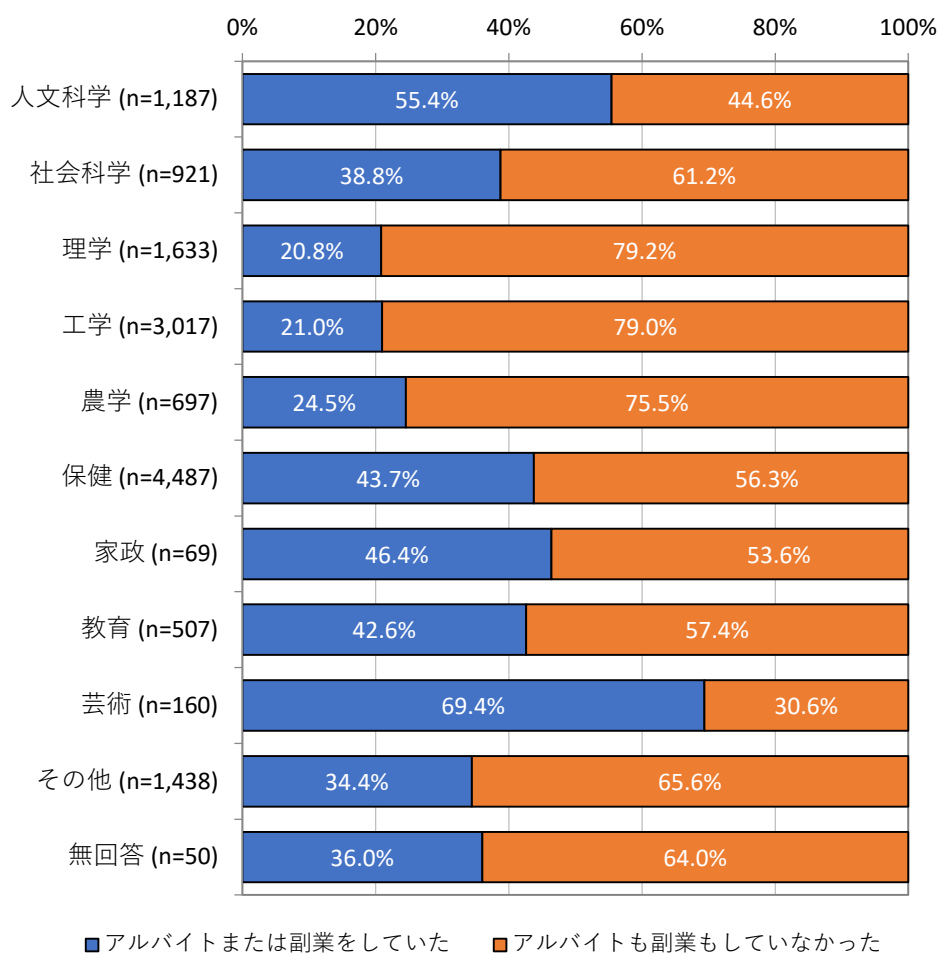
（全体）：n=14,166



図表 2-51 アルバイトまたは副業の実施状況（TA 業務・RA 業務を除く）（学生種別）



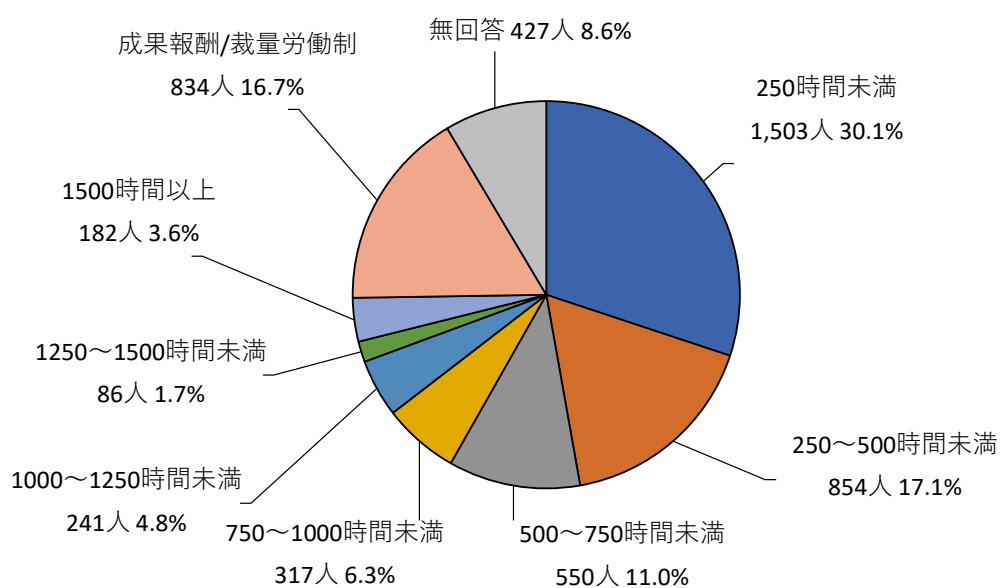
図表 2-52 アルバイトまたは副業の実施状況（TA 業務・RA 業務を除く）
（専攻分野別）



2-6-2 アルバイトまたは副業の実施時間（実施していた者のみ）

アルバイトまたは副業の年間実施時間については、「250時間未満」が30.1%と最も割合が高く、次いで「250～500時間」（17.1%）と「成果報酬/裁量労働制」（16.7%）が続く。「500時間未満」の回答が全体の約半数（47.2%）となっている。

図表 2-53 アルバイトまたは副業の実施時間（全体）：n=4,994
（実施していた者のみ）



図表 2-54 アルバイトまたは副業の実施時間（学生種別）

（実施していた者のみ）

	全体	250時間未満	250～500時間未満	500～750時間未満	750～1000時間未満	1000～1250時間未満	1250～1500時間未満	1500時間以上	成果報酬/裁量労働制	無回答
全体	4994 (100.0%)	1503 (30.1%)	854 (17.1%)	550 (11.0%)	317 (6.3%)	241 (4.8%)	86 (1.7%)	182 (3.6%)	834 (16.7%)	427 (8.6%)
課程学生	2218 (100.0%)	673 (30.3%)	432 (19.5%)	265 (11.9%)	166 (7.5%)	118 (5.3%)	35 (1.6%)	79 (3.6%)	299 (13.5%)	151 (6.8%)
社会人学生	1563 (100.0%)	394 (25.2%)	225 (14.4%)	144 (9.2%)	75 (4.8%)	83 (5.3%)	29 (1.9%)	96 (6.1%)	324 (20.7%)	193 (12.3%)
留学生	1031 (100.0%)	364 (35.3%)	176 (17.1%)	124 (12.0%)	65 (6.3%)	34 (3.3%)	19 (1.8%)	6 (0.6%)	176 (17.1%)	67 (6.5%)
社会人・留学生	182 (100.0%)	72 (39.6%)	21 (11.5%)	17 (9.3%)	11 (6.0%)	6 (3.3%)	3 (1.6%)	1 (0.5%)	35 (19.2%)	16 (8.8%)

図表 2-55 アルバイトまたは副業の実施時間（専攻分野別）

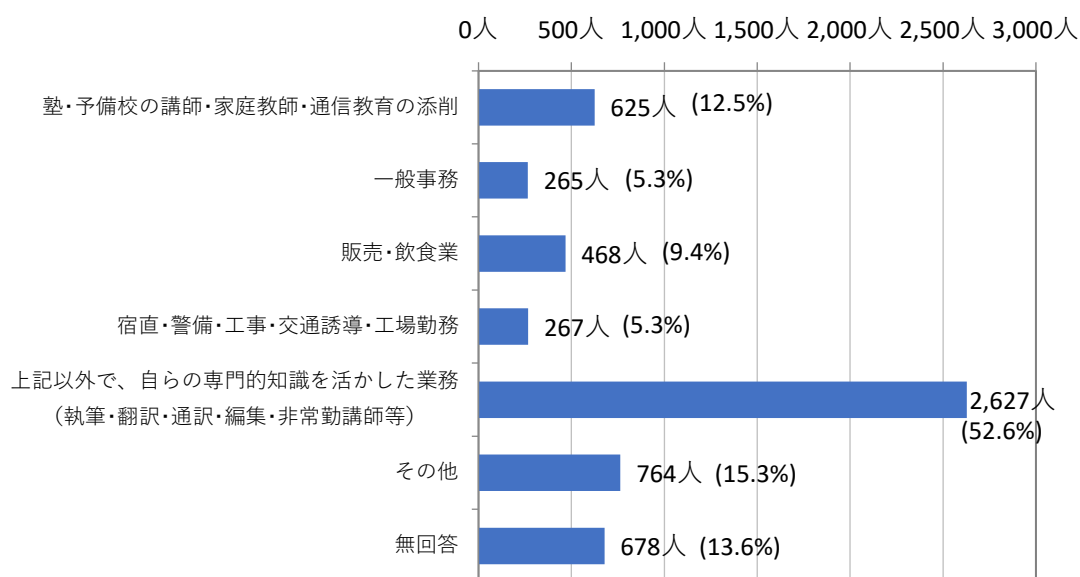
（実施していた者のみ）

	全体	250時間未満	250～500時間未満	500～750時間未満	750～1000時間未満	1000～1250時間未満	1250～1500時間未満	1500時間以上	成果報酬/裁量労働制	無回答
全体	4994 (100.0%)	1503 (30.1%)	854 (17.1%)	550 (11.0%)	317 (6.3%)	241 (4.8%)	86 (1.7%)	182 (3.6%)	834 (16.7%)	427 (8.6%)
人文科学	658 (100.0%)	204 (31.0%)	111 (16.9%)	73 (11.1%)	40 (6.1%)	34 (5.2%)	15 (2.3%)	14 (2.1%)	121 (18.4%)	46 (7.0%)
社会科学	357 (100.0%)	109 (30.5%)	53 (14.8%)	35 (9.8%)	25 (7.0%)	8 (2.2%)	9 (2.5%)	10 (2.8%)	71 (19.9%)	37 (10.4%)
理学	340 (100.0%)	145 (42.6%)	46 (13.5%)	39 (11.5%)	13 (3.8%)	4 (1.2%)	2 (0.6%)	7 (2.1%)	52 (15.3%)	32 (9.4%)
工学	633 (100.0%)	220 (34.8%)	118 (18.6%)	67 (10.6%)	27 (4.3%)	20 (3.2%)	7 (1.1%)	10 (1.6%)	111 (17.5%)	53 (8.4%)
農学	171 (100.0%)	53 (31.0%)	38 (22.2%)	18 (10.5%)	7 (4.1%)	7 (4.1%)	4 (2.3%)	1 (0.6%)	27 (15.8%)	16 (9.4%)
保健	1963 (100.0%)	439 (22.4%)	364 (18.5%)	246 (12.5%)	144 (7.3%)	145 (7.4%)	37 (1.9%)	112 (5.7%)	290 (14.8%)	186 (9.5%)
家政	32 (100.0%)	11 (34.4%)	5 (15.6%)	2 (6.3%)	3 (9.4%)	0 (0.0%)	2 (6.3%)	1 (3.1%)	7 (21.9%)	1 (3.1%)
教育	216 (100.0%)	86 (39.8%)	28 (13.0%)	21 (9.7%)	16 (7.4%)	5 (2.3%)	4 (1.9%)	10 (4.6%)	31 (14.4%)	15 (6.9%)
芸術	111 (100.0%)	33 (29.7%)	13 (11.7%)	3 (2.7%)	7 (6.3%)	6 (5.4%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	39 (35.1%)	9 (8.1%)
その他	495 (100.0%)	199 (40.2%)	74 (14.9%)	46 (9.3%)	32 (6.5%)	11 (2.2%)	6 (1.2%)	13 (2.6%)	82 (16.6%)	32 (6.5%)
無回答	18 (100.0%)	4 (22.2%)	4 (22.2%)	0 (0.0%)	3 (16.7%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	3 (16.7%)	3 (16.7%)	0 (0.0%)

2-6-3 アルバイトまたは副業の種類（実施していた者のみ）

実施していたアルバイトまたは副業の種類は、「上記以外で、自らの専門的知識を活かした業務（執筆・翻訳・通訳・編集・非常勤講師等）」が52.6%で最も割合が高い。

図表 2-56 アルバイトまたは副業の種類（複数回答）（全体）：n=4,994
（実施していた者のみ）



図表 2-57 アルバイトまたは副業の種類（複数回答）（学生種別）

（実施していた者のみ）

	全体	塾・予備校の 講師・家庭教 師・通信教育 の添削	一般事務	販売・飲食業	宿直・警備・工 事・交通誘導・ 工場勤務	上記以外で、 自らの専門的 知識を活かし た業務	その他	無回答
全体	4994 (1.14)	625 (12.5%)	265 (5.3%)	468 (9.4%)	267 (5.3%)	2627 (52.6%)	764 (15.3%)	678 (13.6%)
課程学生	2218 (1.14)	281 (12.7%)	118 (5.3%)	171 (7.7%)	67 (3.0%)	1259 (56.8%)	320 (14.4%)	302 (13.6%)
社会人学生	1563 (1.11)	36 (2.3%)	38 (2.4%)	18 (1.2%)	147 (9.4%)	999 (63.9%)	249 (15.9%)	252 (16.1%)
留学生	1031 (1.19)	276 (26.8%)	97 (9.4%)	243 (23.6%)	39 (3.8%)	307 (29.8%)	163 (15.8%)	101 (9.8%)
社会人・留学生	182 (1.16)	32 (17.6%)	12 (6.6%)	36 (19.8%)	14 (7.7%)	62 (34.1%)	32 (17.6%)	23 (12.6%)

図表 2-58 アルバイトまたは副業の種類（複数回答）（専攻分野別）

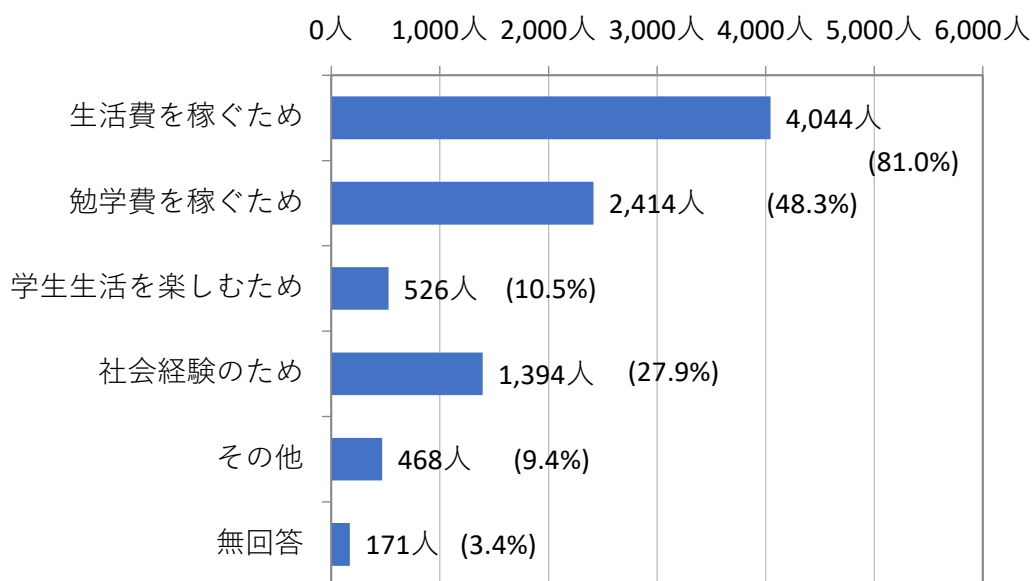
（実施していた者のみ）

	全体	塾・予備校の 講師・家庭教 師・通信教育 の添削	一般事務	販売・飲食業	宿直・警備・工 事・交通誘導・ 工場勤務	上記以外で、 自らの専門的 知識を活かし た業務	その他	無回答
全体	4994 (1.14)	625 (12.5%)	265 (5.3%)	468 (9.4%)	267 (5.3%)	2627 (52.6%)	764 (15.3%)	678 (13.6%)
人文科学	658 (1.20)	135 (20.5%)	63 (9.6%)	67 (10.2%)	10 (1.5%)	353 (53.6%)	80 (12.2%)	84 (12.8%)
社会科学	357 (1.20)	60 (16.8%)	38 (10.6%)	51 (14.3%)	9 (2.5%)	157 (44.0%)	46 (12.9%)	66 (18.5%)
理学	340 (1.11)	66 (19.4%)	17 (5.0%)	60 (17.6%)	8 (2.4%)	147 (43.2%)	57 (16.8%)	22 (6.5%)
工学	633 (1.12)	100 (15.8%)	37 (5.8%)	106 (16.7%)	22 (3.5%)	203 (32.1%)	105 (16.6%)	134 (21.2%)
農学	171 (1.15)	27 (15.8%)	16 (9.4%)	30 (17.5%)	8 (4.7%)	59 (34.5%)	39 (22.8%)	18 (10.5%)
保健	1963 (1.09)	60 (3.1%)	22 (1.1%)	56 (2.9%)	193 (9.8%)	1220 (62.1%)	310 (15.8%)	288 (14.7%)
家政	32 (1.13)	3 (9.4%)	0 (0.0%)	1 (3.1%)	0 (0.0%)	14 (43.8%)	4 (12.5%)	14 (43.8%)
教育	216 (1.17)	25 (11.6%)	20 (9.3%)	20 (9.3%)	4 (1.9%)	147 (68.1%)	26 (12.0%)	11 (5.1%)
芸術	111 (1.33)	38 (34.2%)	9 (8.1%)	10 (9.0%)	0 (0.0%)	69 (62.2%)	11 (9.9%)	11 (9.9%)
その他	495 (1.18)	104 (21.0%)	40 (8.1%)	62 (12.5%)	12 (2.4%)	251 (50.7%)	83 (16.8%)	30 (6.1%)
無回答	18 (1.44)	7 (38.9%)	3 (16.7%)	5 (27.8%)	1 (5.6%)	7 (38.9%)	3 (16.7%)	0 (0.0%)

2-6-4 アルバイトまたは副業を実施した理由（実施していた者のみ）

アルバイトまたは副業を実施した理由については、「生活費を稼ぐため」が81.0%と最も割合が高く、次いで「勉学費を稼ぐため」（48.3%）、「社会経験のため」（27.9%）となっている。

図表 2-59 アルバイトまたは副業を実施した理由（複数回答）（全体）：n=4,994
（実施していた者のみ）



図表 2-60 アルバイトまたは副業を実施した理由（複数回答）（学生種別）

（実施していた者のみ）

	全体	生活費を稼ぐため	勉強費を稼ぐため	学生生活を楽しむため	社会経験のため	その他	無回答
全体	4994 (1.81)	4044 (81.0%)	2414 (48.3%)	526 (10.5%)	1394 (27.9%)	468 (9.4%)	171 (3.4%)
課程学生	2218 (1.91)	1850 (83.4%)	1192 (53.7%)	255 (11.5%)	706 (31.8%)	185 (8.3%)	48 (2.2%)
社会人学生	1563 (1.55)	1169 (74.8%)	643 (41.1%)	46 (2.9%)	242 (15.5%)	223 (14.3%)	100 (6.4%)
留学生	1031 (1.95)	879 (85.3%)	500 (48.5%)	181 (17.6%)	383 (37.1%)	48 (4.7%)	18 (1.7%)
社会人・留学生	182 (1.92)	146 (80.2%)	79 (43.4%)	44 (24.2%)	63 (34.6%)	12 (6.6%)	5 (2.7%)

図表 2-61 アルバイトまたは副業を実施した理由（複数回答）（専攻分野別）

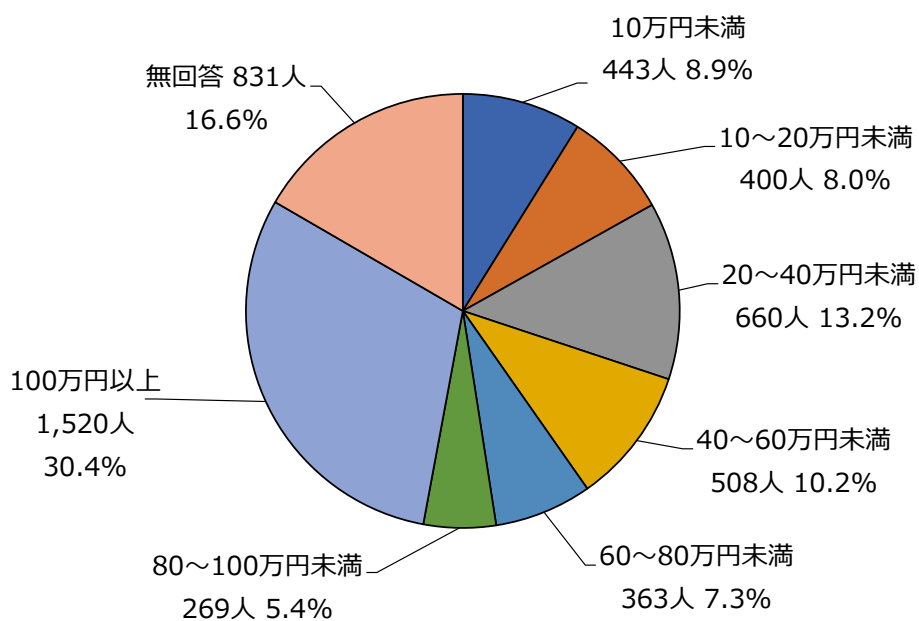
（実施していた者のみ）

	全体	生活費を稼ぐため	勉強費を稼ぐため	学生生活を楽しむため	社会経験のため	その他	無回答
全体	4994 (1.81)	4044 (81.0%)	2414 (48.3%)	526 (10.5%)	1394 (27.9%)	468 (9.4%)	171 (3.4%)
人文科学	658 (2.00)	543 (82.5%)	420 (63.8%)	62 (9.4%)	215 (32.7%)	59 (9.0%)	20 (3.0%)
社会科学	357 (1.83)	255 (71.4%)	191 (53.5%)	31 (8.7%)	106 (29.7%)	44 (12.3%)	28 (7.8%)
理学	340 (1.79)	258 (75.9%)	150 (44.1%)	54 (15.9%)	104 (30.6%)	26 (7.6%)	16 (4.7%)
工学	633 (1.80)	481 (76.0%)	249 (39.3%)	109 (17.2%)	216 (34.1%)	57 (9.0%)	29 (4.6%)
農学	171 (1.83)	143 (83.6%)	85 (49.7%)	21 (12.3%)	49 (28.7%)	11 (6.4%)	4 (2.3%)
保健	1963 (1.67)	1688 (86.0%)	856 (43.6%)	147 (7.5%)	377 (19.2%)	164 (8.4%)	55 (2.8%)
家政	32 (1.91)	21 (65.6%)	15 (46.9%)	3 (9.4%)	12 (37.5%)	5 (15.6%)	5 (15.6%)
教育	216 (1.99)	158 (73.1%)	121 (56.0%)	23 (10.6%)	92 (42.6%)	32 (14.8%)	3 (1.4%)
芸術	111 (2.05)	89 (80.2%)	67 (60.4%)	11 (9.9%)	42 (37.8%)	15 (13.5%)	3 (2.7%)
その他	495 (1.90)	392 (79.2%)	249 (50.3%)	63 (12.7%)	177 (35.8%)	52 (10.5%)	8 (1.6%)
無回答	18 (2.00)	16 (88.9%)	11 (61.1%)	2 (11.1%)	4 (22.2%)	3 (16.7%)	0 (0.0%)

2-6-5 アルバイトまたは副業による収入（実施していた者のみ）

アルバイトまたは副業により得られた年間の収入については、「100万円以上」が30.4%と最も割合が高い。

図表 2-62 アルバイトまたは副業による収入（全体）：n=4,994
（実施していた者のみ）



図表 2-63 アルバイトまたは副業による収入（学生種別）

（実施していた者のみ）

	全体	10万円未満	10～20万円未満	20～40万円未満	40～60万円未満	60～80万円未満	80～100万円未満	100万円以上	無回答
全体	4994 (100.0%)	443 (8.9%)	400 (8.0%)	660 (13.2%)	508 (10.2%)	363 (7.3%)	269 (5.4%)	1520 (30.4%)	831 (16.6%)
課程学生	2218 (100.0%)	170 (7.7%)	180 (8.1%)	289 (13.0%)	238 (10.7%)	178 (8.0%)	144 (6.5%)	720 (32.5%)	299 (13.5%)
社会人学生	1563 (100.0%)	87 (5.6%)	94 (6.0%)	139 (8.9%)	83 (5.3%)	64 (4.1%)	37 (2.4%)	664 (42.5%)	395 (25.3%)
留学生	1031 (100.0%)	151 (14.6%)	110 (10.7%)	202 (19.6%)	164 (15.9%)	106 (10.3%)	76 (7.4%)	112 (10.9%)	110 (10.7%)
社会人・留学生	182 (100.0%)	35 (19.2%)	16 (8.8%)	30 (16.5%)	23 (12.6%)	15 (8.2%)	12 (6.6%)	24 (13.2%)	27 (14.8%)

図表 2-64 アルバイトまたは副業による収入（専攻分野別）

（実施していた者のみ）

	全体	10万円未満	10～20万円未満	20～40万円未満	40～60万円未満	60～80万円未満	80～100万円未満	100万円以上	無回答
全体	4994 (100.0%)	443 (8.9%)	400 (8.0%)	660 (13.2%)	508 (10.2%)	363 (7.3%)	269 (5.4%)	1520 (30.4%)	831 (16.6%)
人文学	658 (100.0%)	67 (10.2%)	51 (7.8%)	94 (14.3%)	89 (13.5%)	63 (9.6%)	52 (7.9%)	152 (23.1%)	90 (13.7%)
社会科学	357 (100.0%)	38 (10.6%)	23 (6.4%)	53 (14.8%)	44 (12.3%)	36 (10.1%)	31 (8.7%)	60 (16.8%)	72 (20.2%)
理学	340 (100.0%)	43 (12.6%)	45 (13.2%)	64 (18.8%)	54 (15.9%)	32 (9.4%)	12 (3.5%)	43 (12.6%)	47 (13.8%)
工学	633 (100.0%)	93 (14.7%)	79 (12.5%)	121 (19.1%)	94 (14.8%)	65 (10.3%)	37 (5.8%)	64 (10.1%)	80 (12.6%)
農学	171 (100.0%)	21 (12.3%)	21 (12.3%)	35 (20.5%)	26 (15.2%)	15 (8.8%)	9 (5.3%)	18 (10.5%)	26 (15.2%)
保健	1963 (100.0%)	99 (5.0%)	97 (4.9%)	135 (6.9%)	100 (5.1%)	75 (3.8%)	60 (3.1%)	993 (50.6%)	404 (20.6%)
家政	32 (100.0%)	6 (18.8%)	3 (9.4%)	4 (12.5%)	5 (15.6%)	1 (3.1%)	1 (3.1%)	9 (28.1%)	3 (9.4%)
教育	216 (100.0%)	19 (8.8%)	16 (7.4%)	35 (16.2%)	21 (9.7%)	21 (9.7%)	28 (13.0%)	47 (21.8%)	29 (13.4%)
芸術	111 (100.0%)	5 (4.5%)	9 (8.1%)	13 (11.7%)	15 (13.5%)	9 (8.1%)	12 (10.8%)	23 (20.7%)	25 (22.5%)
その他	495 (100.0%)	50 (10.1%)	55 (11.1%)	103 (20.8%)	58 (11.7%)	46 (9.3%)	26 (5.3%)	103 (20.8%)	54 (10.9%)
無回答	18 (100.0%)	2 (11.1%)	1 (5.6%)	3 (16.7%)	2 (11.1%)	0 (0.0%)	1 (5.6%)	8 (44.4%)	1 (5.6%)

2-7 経済的支援（奨学金・授業料減免等）について

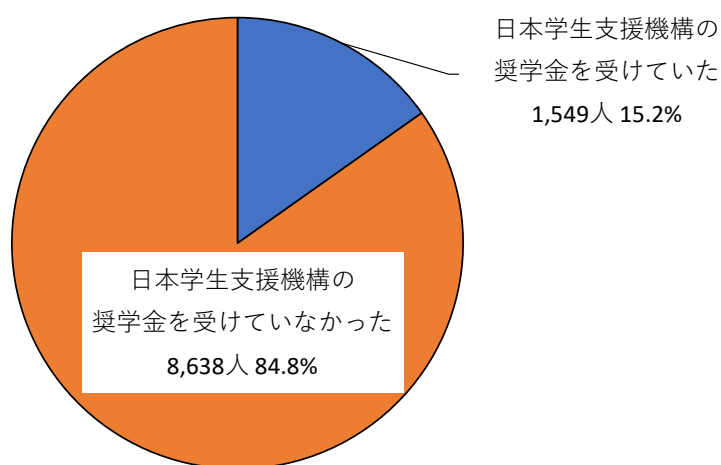
2-7-1 日本学生支援機構の奨学金制度について¹

(1) 日本学生支援機構の奨学金制度の有無

令和3年度の日本学生支援機構の奨学金制度の有無については、「日本学生支援機構の奨学金を受けていなかった」の割合が84.8%と高くなっている。

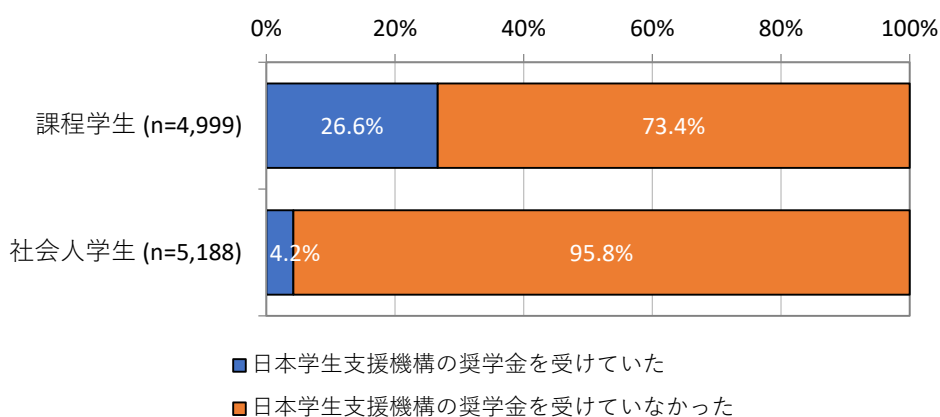
図表 2-65 日本学生支援機構の奨学金制度の有無（全体）：n=10,187

（留学生、社会人・留学生は除く）



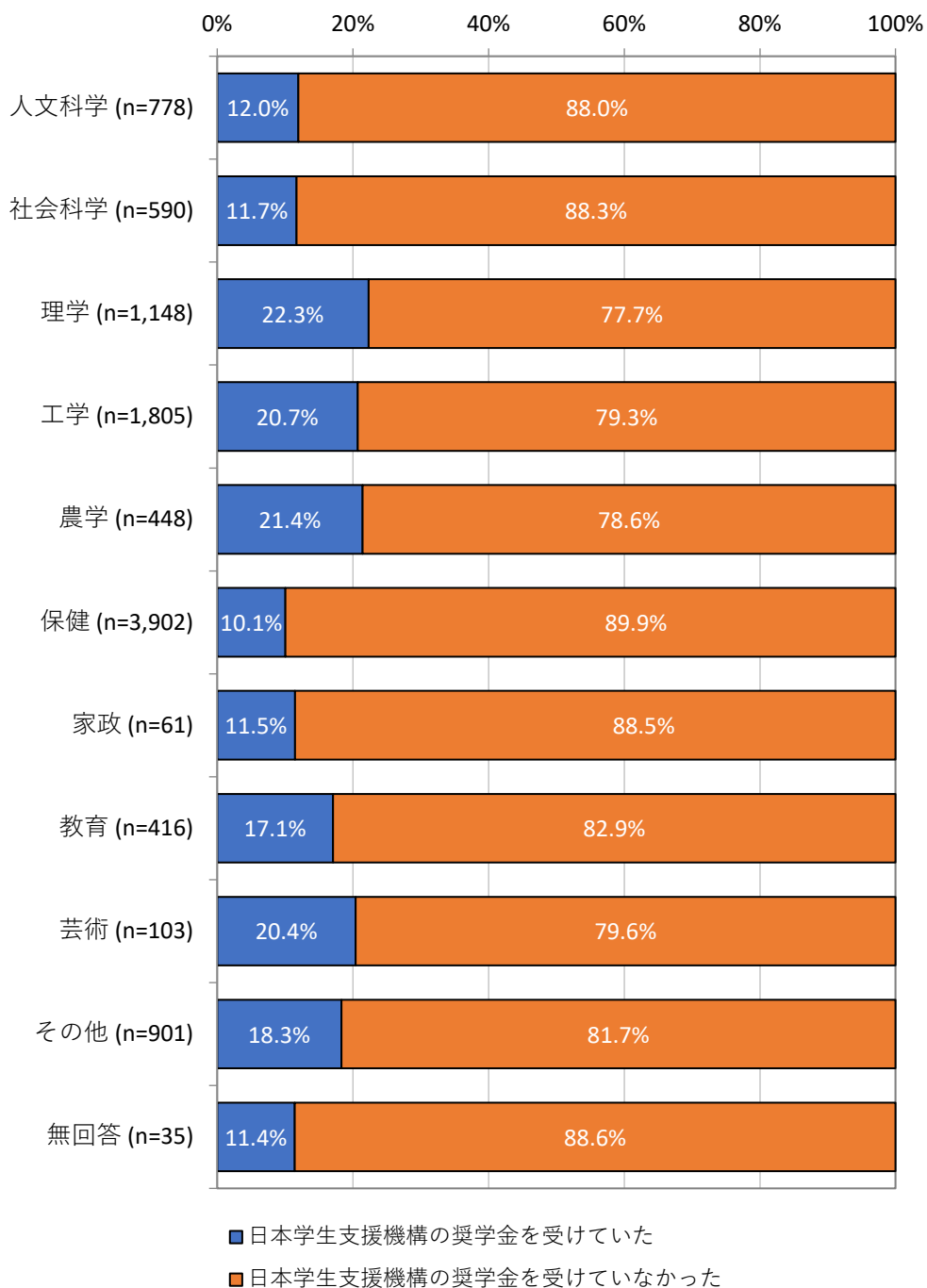
図表 2-66 日本学生支援機構の奨学金制度の有無（学生種別）

（留学生、社会人・留学生は除く）



¹ 留学生、社会人・留学生は、日本学生支援機構の貸与型奨学金制度対象外のため、本節の分析では除外している。

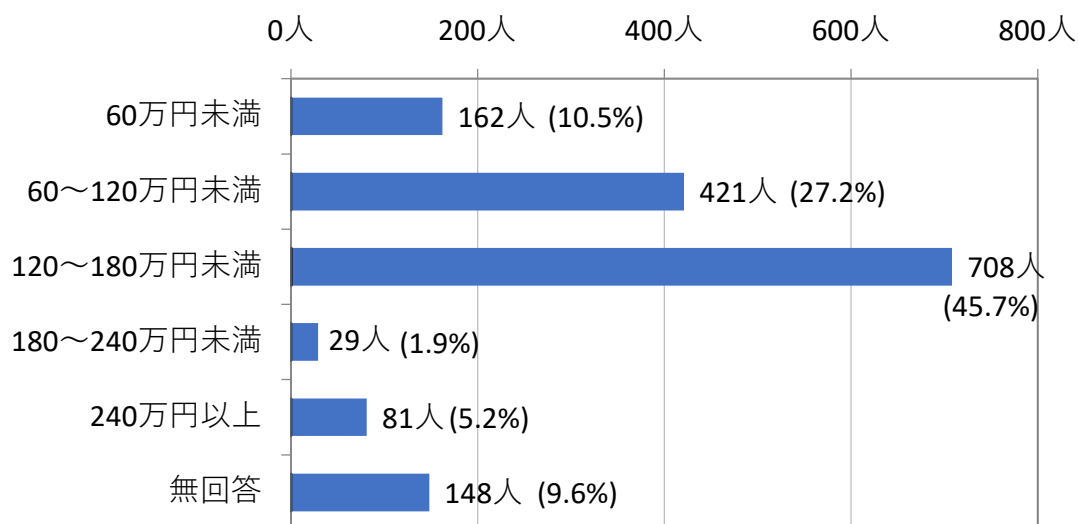
図表 2-67 日本学生支援機構の奨学金制度の有無（専攻分野別）
（留学生、社会人・留学生は除く）



(2)日本学生支援機構の奨学金制度の金額

日本学生支援機構の奨学金制度の受給者について、年間貸与額については、「120～180万円未満」が45.7%、次いで「60～120万円未満」が27.2%となっている。一方、180万円以上の回答は全体の7.1%となっている。

図表 2-68 日本学生支援機構の奨学金制度の年間貸与額
(返還免除になった場合の返還免除額含む) (全体) : n=1,549
(日本学生支援機構の奨学金制度の受給者のみ)



図表 2-69 日本学生支援機構の奨学金制度の年間貸与額

(返還免除になった場合の返還免除額含む) (学生種別)

(日本学生支援機構の奨学金制度の受給者のみ)

	全体	60万円未満	60～120万円 未満	120～180万 円未満	180～240万 円未満	240万円以上	無回答
全体	1549 (100.0%)	162 (10.5%)	421 (27.2%)	708 (45.7%)	29 (1.9%)	81 (5.2%)	148 (9.6%)
課程学生	1331 (100.0%)	138 (10.4%)	359 (27.0%)	627 (47.1%)	18 (1.4%)	67 (5.0%)	122 (9.2%)
社会人学生	218 (100.0%)	24 (11.0%)	62 (28.4%)	81 (37.2%)	11 (5.0%)	14 (6.4%)	26 (11.9%)

図表 2-70 日本学生支援機構の奨学金制度の年間貸与額

(返還免除になった場合の返還免除額含む) (専攻分野別)

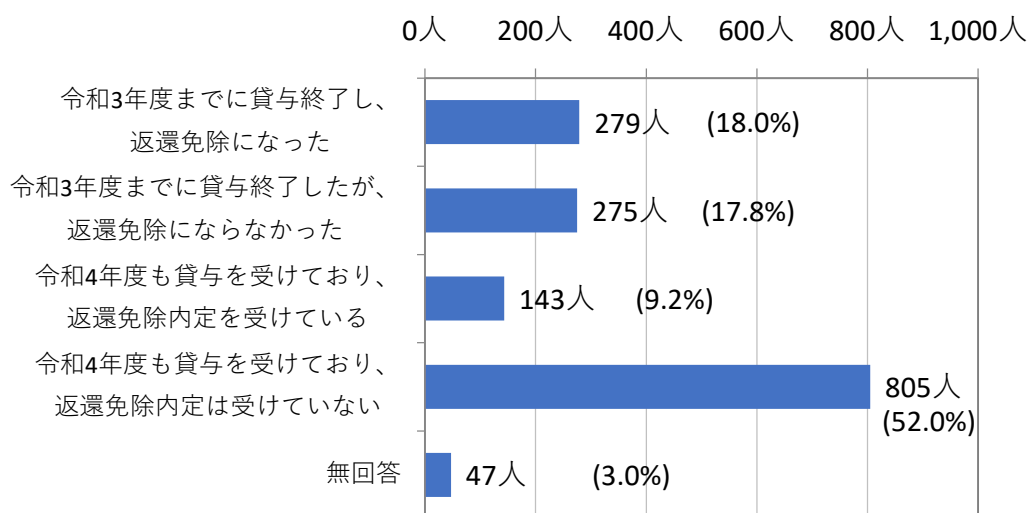
(日本学生支援機構の奨学金制度の受給者のみ)

	全体	60万円未満	60～120万円 未満	120～180万 円未満	180～240万 円未満	240万円以上	無回答
全体	1549 (100.0%)	162 (10.5%)	421 (27.2%)	708 (45.7%)	29 (1.9%)	81 (5.2%)	148 (9.6%)
人文科学	93 (100.0%)	6 (6.5%)	26 (28.0%)	34 (36.6%)	4 (4.3%)	8 (8.6%)	15 (16.1%)
社会科学	69 (100.0%)	8 (11.6%)	19 (27.5%)	26 (37.7%)	2 (2.9%)	3 (4.3%)	11 (15.9%)
理学	256 (100.0%)	25 (9.8%)	70 (27.3%)	124 (48.4%)	3 (1.2%)	13 (5.1%)	21 (8.2%)
工学	374 (100.0%)	48 (12.8%)	101 (27.0%)	173 (46.3%)	7 (1.9%)	14 (3.7%)	31 (8.3%)
農学	96 (100.0%)	11 (11.5%)	25 (26.0%)	43 (44.8%)	0 (0.0%)	8 (8.3%)	9 (9.4%)
保健	393 (100.0%)	32 (8.1%)	106 (27.0%)	196 (49.9%)	9 (2.3%)	16 (4.1%)	34 (8.7%)
家政	7 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (71.4%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)
教育	71 (100.0%)	13 (18.3%)	19 (26.8%)	24 (33.8%)	2 (2.8%)	4 (5.6%)	9 (12.7%)
芸術	21 (100.0%)	2 (9.5%)	2 (9.5%)	11 (52.4%)	1 (4.8%)	4 (19.0%)	1 (4.8%)
その他	165 (100.0%)	16 (9.7%)	53 (32.1%)	70 (42.4%)	1 (0.6%)	10 (6.1%)	15 (9.1%)
無回答	4 (100.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)

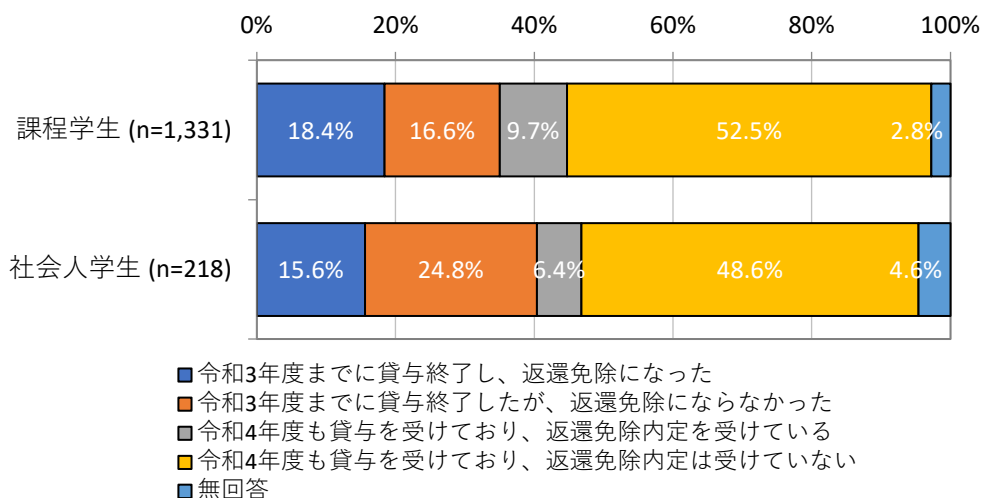
(3)日本学生支援機構の奨学金制度の返還免除有無

日本学生支援機構の奨学金制度の返還免除有無については、令和3年度までに貸与が終了した者は「返還免除になった」と「返還免除にならなかった」が同程度となっている。令和4年度も貸与を受けている者は「返還免除内定は受けていない」の割合が52.0%と高い。

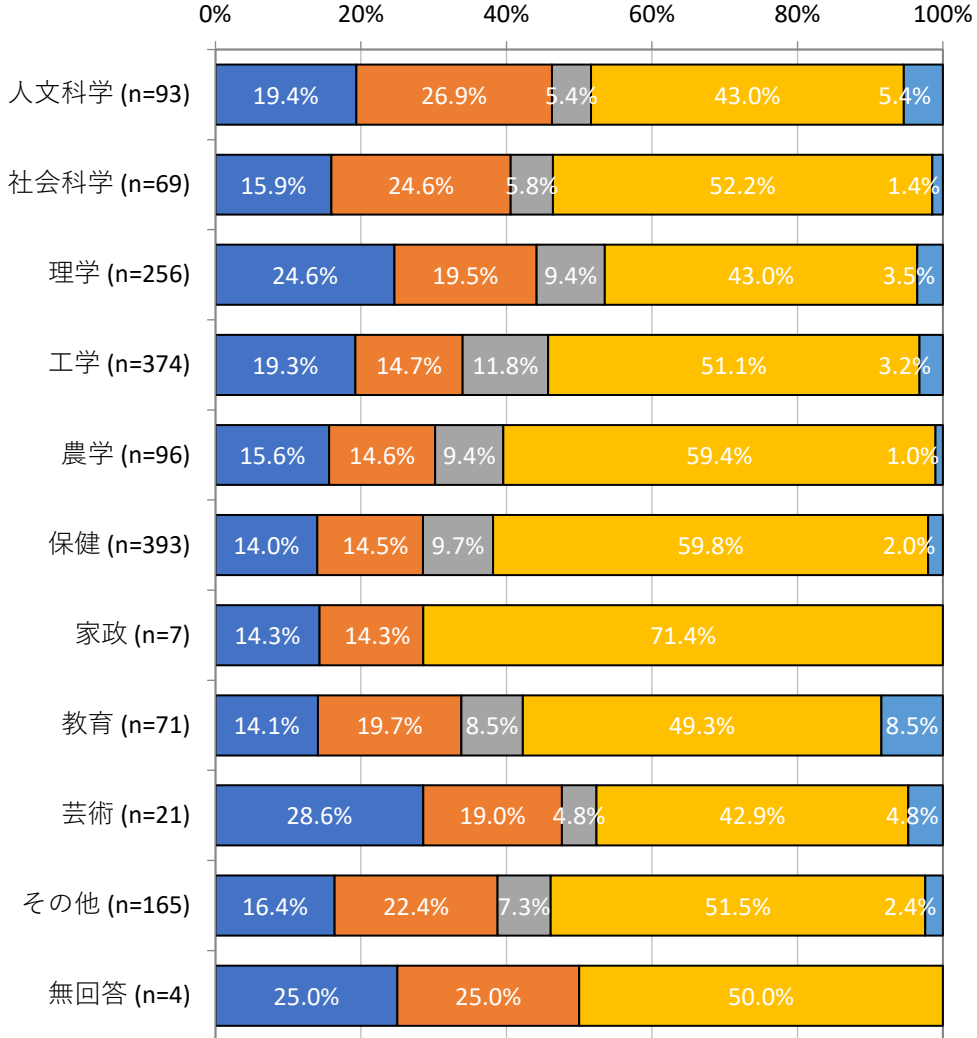
図表 2-71 日本学生支援機構の奨学金制度の免除有無（全体）：n=1,549
（日本学生支援機構の奨学金制度の受給者のみ）



図表 2-72 日本学生支援機構の奨学金制度の免除有無（学生種別）
（日本学生支援機構の奨学金制度の受給者のみ）



図表 2-73 日本学生支援機構の奨学金制度の免除有無（専攻分野別）
 （日本学生支援機構の奨学金制度の受給者のみ）



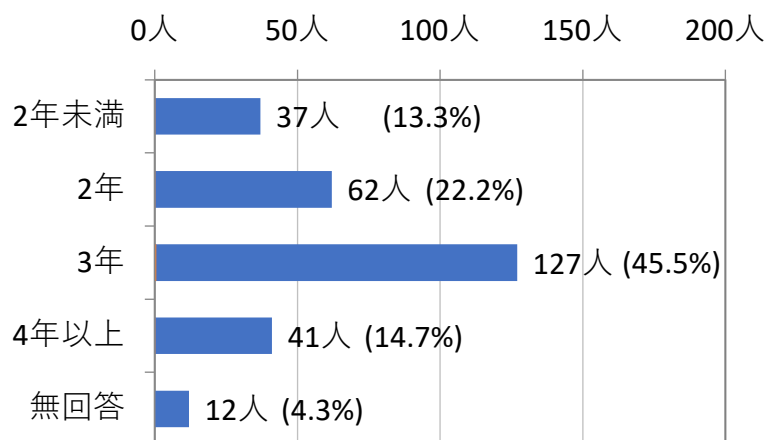
- 令和3年度までに貸与終了し、返還免除になった
- 令和3年度までに貸与終了したが、返還免除にならなかった
- 令和4年度も貸与を受けており、返還免除内定を受けている
- 令和4年度も貸与を受けており、返還免除内定は受けていない
- 無回答

(4)返還免除者の貸与年数、貸与総額、返還免除額

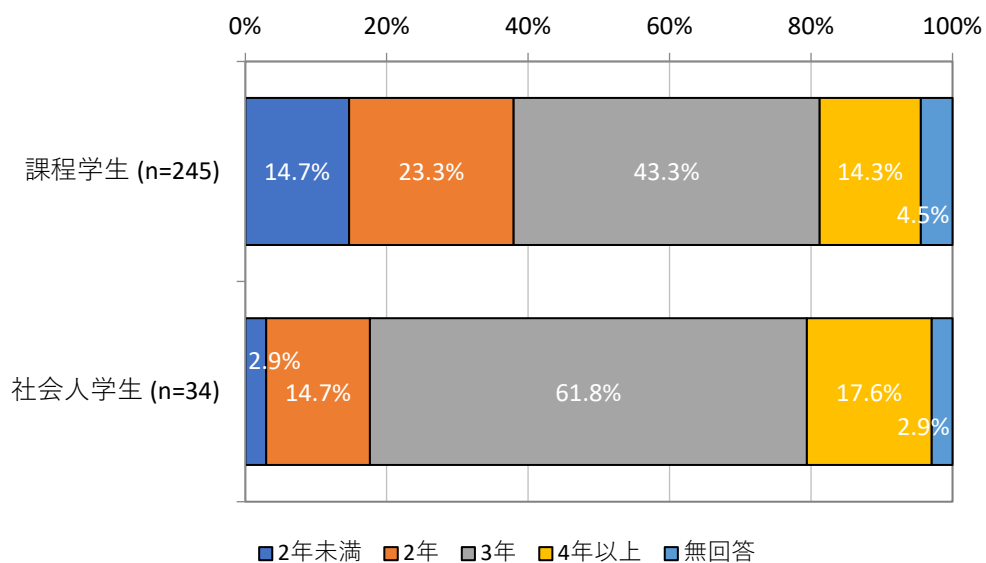
①貸与年数

日本学生支援機構の奨学金返還免除者の貸与年数については、「3年」が45.5%、次いで「2年」(22.2%)、「2年未満」(13.3%)となっている。

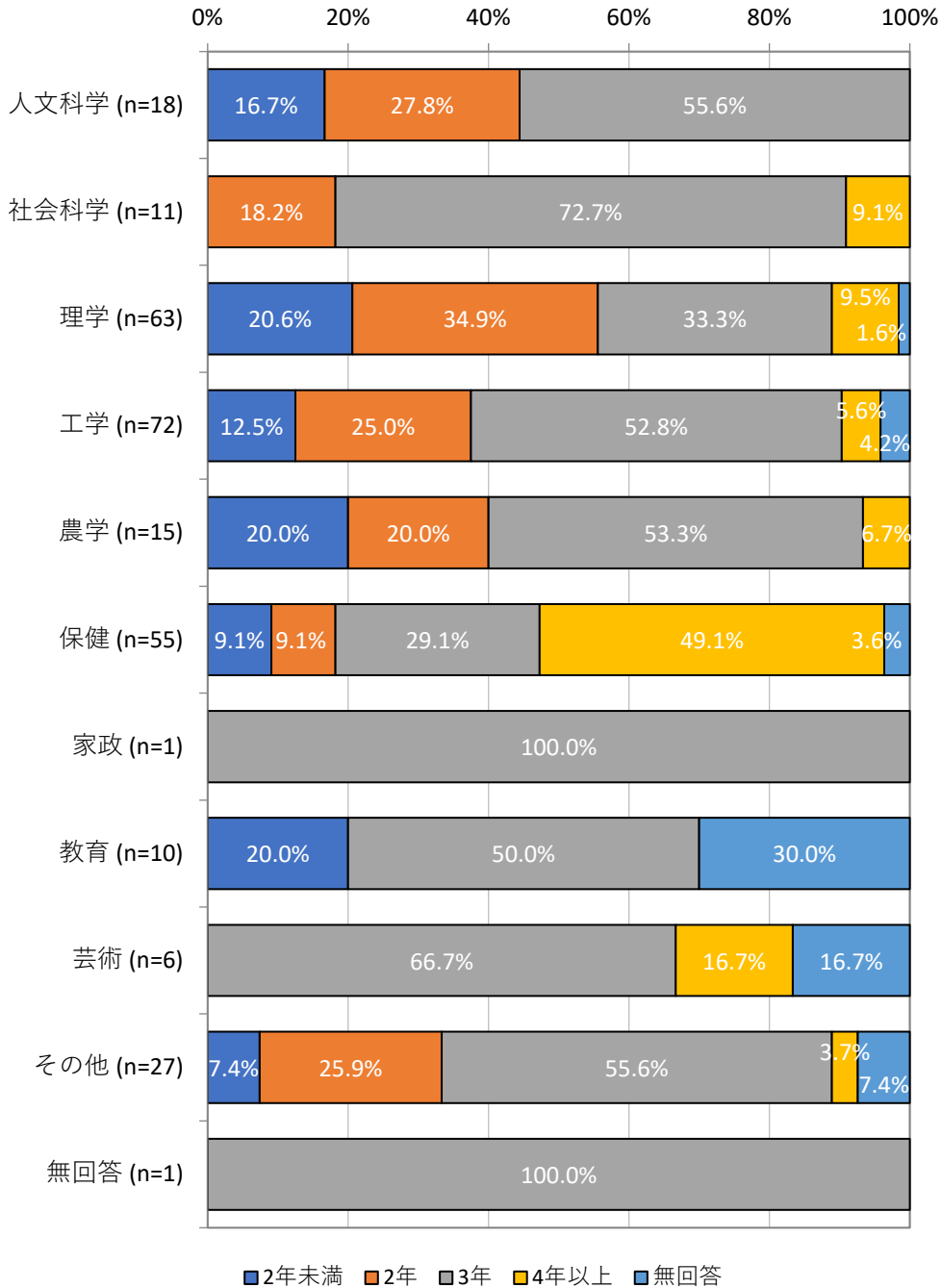
図表 2-74 貸与年数 (全体) : n=279
(日本学生支援機構の奨学金返還免除者のみ)



図表 2-75 貸与年数 (学生種別)
(日本学生支援機構の奨学金返還免除者のみ)



図表 2-76 貸与年数（専攻分野別）
 （日本学生支援機構の奨学金返還免除者のみ）

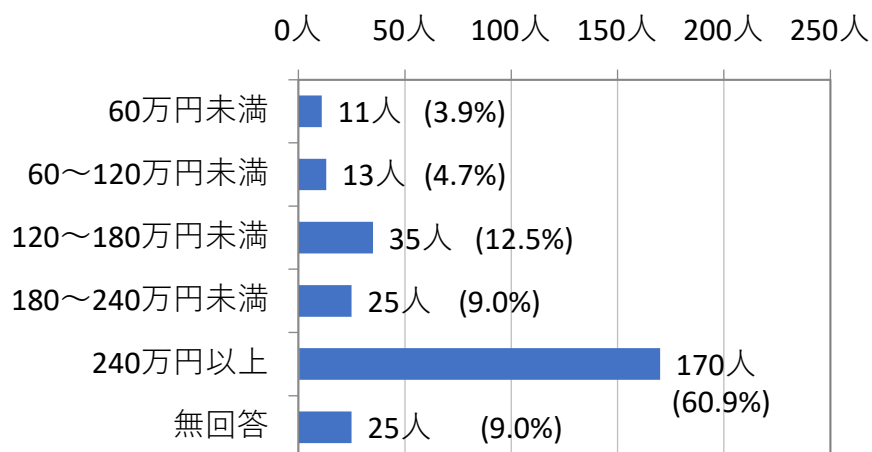


②貸与総額

日本学生支援機構の奨学金返還免除者の奨学金貸与総額については、「240万円以上」が60.9%と最も割合が高く、次いで「120～180万円未満」が12.5%となっている。

図表 2-77 貸与総額（全体）：n=279

（日本学生支援機構の奨学金返還免除者のみ）



図表 2-78 貸与総額（学生種別）

（日本学生支援機構の奨学金返還免除者のみ）

	全体	60万円未満	60～120万円 未満	120～180万 円未満	180～240万 円未満	240万円以上	無回答
全体	279 (100.0%)	11 (3.9%)	13 (4.7%)	35 (12.5%)	25 (9.0%)	170 (60.9%)	25 (9.0%)
課程学生	245 (100.0%)	10 (4.1%)	11 (4.5%)	34 (13.9%)	24 (9.8%)	142 (58.0%)	24 (9.8%)
社会人学生	34 (100.0%)	1 (2.9%)	2 (5.9%)	1 (2.9%)	1 (2.9%)	28 (82.4%)	1 (2.9%)

図表 2-79 貸与総額（専攻分野別）

（日本学生支援機構の奨学金返還免除者のみ）

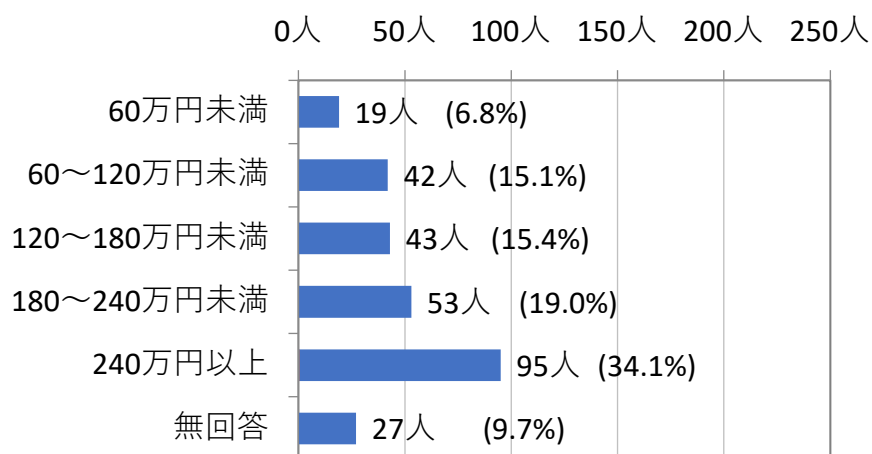
	全体	60万円未満	60～120万円 未満	120～180万 円未満	180～240万 円未満	240万円以上	無回答
全体	279 (100.0%)	11 (3.9%)	13 (4.7%)	35 (12.5%)	25 (9.0%)	170 (60.9%)	25 (9.0%)
人文科学	18 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (5.6%)	2 (11.1%)	3 (16.7%)	11 (61.1%)	1 (5.6%)
社会科学	11 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	9 (81.8%)	0 (0.0%)
理学	63 (100.0%)	3 (4.8%)	4 (6.3%)	13 (20.6%)	5 (7.9%)	33 (52.4%)	5 (7.9%)
工学	72 (100.0%)	5 (6.9%)	5 (6.9%)	9 (12.5%)	8 (11.1%)	40 (55.6%)	5 (6.9%)
農学	15 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (20.0%)	1 (6.7%)	11 (73.3%)	0 (0.0%)
保健	55 (100.0%)	2 (3.6%)	2 (3.6%)	5 (9.1%)	2 (3.6%)	39 (70.9%)	5 (9.1%)
家政	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)
教育	10 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	4 (40.0%)	5 (50.0%)
芸術	6 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (83.3%)	1 (16.7%)
その他	27 (100.0%)	1 (3.7%)	0 (0.0%)	2 (7.4%)	5 (18.5%)	16 (59.3%)	3 (11.1%)
無回答	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)

③返還免除額

日本学生支援機構の奨学金返還免除者の返還免除額については、「240万円以上」が34.1%と最も割合が高くなっている。

図表 2-80 返還免除額（全体）：n=279

（日本学生支援機構の奨学金返還免除者のみ）



図表 2-81 返還免除額（学生種別）

（日本学生支援機構の奨学金返還免除者のみ）

	全体	60万円未満	60～120万円未満	120～180万円未満	180～240万円未満	240万円以上	無回答
全体	279 (100.0%)	19 (6.8%)	42 (15.1%)	43 (15.4%)	53 (19.0%)	95 (34.1%)	27 (9.7%)
課程学生	245 (100.0%)	17 (6.9%)	39 (15.9%)	37 (15.1%)	42 (17.1%)	84 (34.3%)	26 (10.6%)
社会人学生	34 (100.0%)	2 (5.9%)	3 (8.8%)	6 (17.6%)	11 (32.4%)	11 (32.4%)	1 (2.9%)

図表 2-82 返還免除額（専攻分野別）

（日本学生支援機構の奨学金返還免除者のみ）

	全体	60万円未満	60～120万円未満	120～180万円未満	180～240万円未満	240万円以上	無回答
全体	279 (100.0%)	19 (6.8%)	42 (15.1%)	43 (15.4%)	53 (19.0%)	95 (34.1%)	27 (9.7%)
人文科学	18 (100.0%)	3 (16.7%)	2 (11.1%)	4 (22.2%)	2 (11.1%)	6 (33.3%)	1 (5.6%)
社会科学	11 (100.0%)	1 (9.1%)	2 (18.2%)	0 (0.0%)	3 (27.3%)	5 (45.5%)	0 (0.0%)
理学	63 (100.0%)	4 (6.3%)	14 (22.2%)	9 (14.3%)	8 (12.7%)	21 (33.3%)	7 (11.1%)
工学	72 (100.0%)	8 (11.1%)	11 (15.3%)	16 (22.2%)	13 (18.1%)	19 (26.4%)	5 (6.9%)
農学	15 (100.0%)	0 (0.0%)	4 (26.7%)	2 (13.3%)	4 (26.7%)	5 (33.3%)	0 (0.0%)
保健	55 (100.0%)	3 (5.5%)	4 (7.3%)	6 (10.9%)	11 (20.0%)	26 (47.3%)	5 (9.1%)
家政	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
教育	10 (100.0%)	0 (0.0%)	2 (20.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	2 (20.0%)	5 (50.0%)
芸術	6 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)
その他	27 (100.0%)	0 (0.0%)	3 (11.1%)	4 (14.8%)	8 (29.6%)	9 (33.3%)	3 (11.1%)
無回答	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

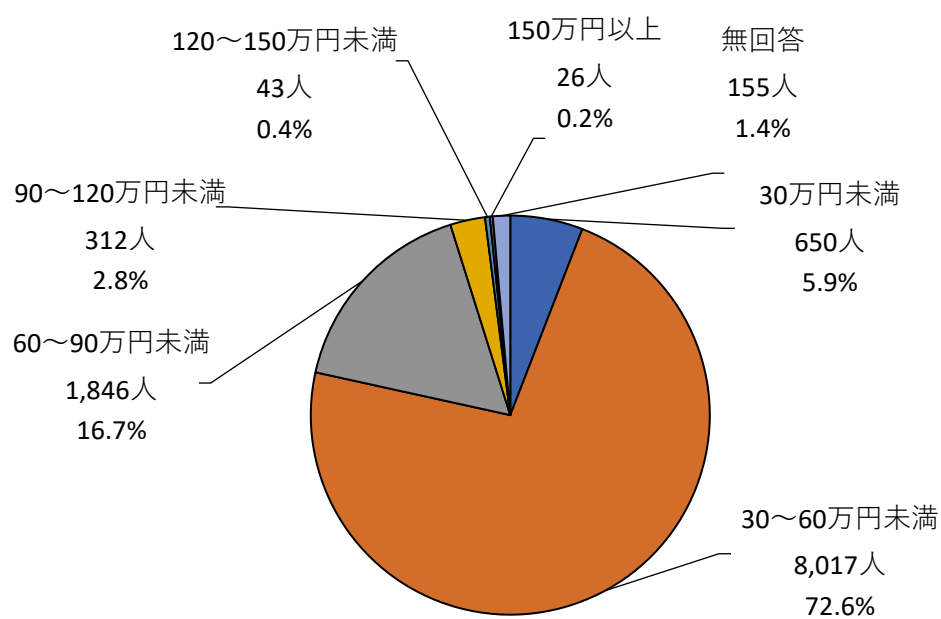
2-7-2 授業料の減免について

(1)年間授業料

年間授業料について、2019～2021 年度入学者の年間授業料をみると、全体の約 7 割が「30～60 万円未満」となっている。

図表 2-83 年間授業料：n=11,049

(2019～2021 年度入学者のみ)



※年間授業料は、各回答者が所属する専攻の授業料の金額を、大学が回答したものである。

図表 2-84 年間授業料（学生種別）

（2019～2021 年度入学者のみ）

	全体	30万円未満	30～60万円 未満	60～90万円 未満	90～120万円 未満	120～150万 円未満	150万円以上	無回答
全体	11049 (100.0%)	650 (5.9%)	8017 (72.6%)	1846 (16.7%)	312 (2.8%)	43 (0.4%)	26 (0.2%)	155 (1.4%)
課程学生	4240 (100.0%)	224 (5.3%)	3070 (72.4%)	759 (17.9%)	120 (2.8%)	9 (0.2%)	13 (0.3%)	45 (1.1%)
社会人学生	3469 (100.0%)	209 (6.0%)	2341 (67.5%)	698 (20.1%)	106 (3.1%)	25 (0.7%)	12 (0.3%)	78 (2.2%)
留学生	2830 (100.0%)	185 (6.5%)	2203 (77.8%)	339 (12.0%)	72 (2.5%)	5 (0.2%)	1 (0.0%)	25 (0.9%)
社会人・留学生	510 (100.0%)	32 (6.3%)	403 (79.0%)	50 (9.8%)	14 (2.7%)	4 (0.8%)	0 (0.0%)	7 (1.4%)

図表 2-85 年間授業料（専攻分野別）

（2019～2021 年度入学者のみ）

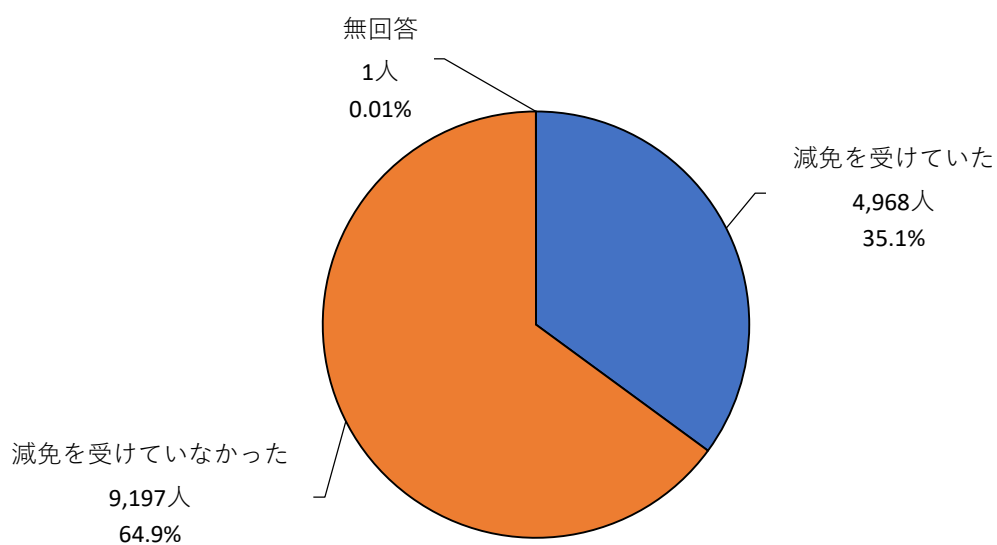
	全体	30万円未満	30～60万円 未満	60～90万円 未満	90～120万円 未満	120～150万 円未満	150万円以上	無回答
全体	11049 (100.0%)	650 (5.9%)	8017 (72.6%)	1846 (16.7%)	312 (2.8%)	43 (0.4%)	26 (0.2%)	155 (1.4%)
人文科学	828 (100.0%)	26 (3.1%)	671 (81.0%)	128 (15.5%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)
社会科学	644 (100.0%)	4 (0.6%)	436 (67.7%)	157 (24.4%)	27 (4.2%)	13 (2.0%)	1 (0.2%)	6 (0.9%)
理学	1440 (100.0%)	38 (2.6%)	1195 (83.0%)	132 (9.2%)	75 (5.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
工学	2580 (100.0%)	249 (9.7%)	1975 (76.6%)	265 (10.3%)	57 (2.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	34 (1.3%)
農学	597 (100.0%)	54 (9.0%)	457 (76.5%)	84 (14.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.3%)
保健	3216 (100.0%)	245 (7.6%)	2001 (62.2%)	752 (23.4%)	110 (3.4%)	20 (0.6%)	4 (0.1%)	84 (2.6%)
家政	55 (100.0%)	0 (0.0%)	22 (40.0%)	30 (54.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (5.5%)
教育	402 (100.0%)	4 (1.0%)	349 (86.8%)	49 (12.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
芸術	132 (100.0%)	0 (0.0%)	33 (25.0%)	47 (35.6%)	25 (18.9%)	10 (7.6%)	17 (12.9%)	0 (0.0%)
その他	1125 (100.0%)	30 (2.7%)	863 (76.7%)	202 (18.0%)	16 (1.4%)	0 (0.0%)	4 (0.4%)	10 (0.9%)
無回答	30 (100.0%)	0 (0.0%)	15 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	15 (50.0%)

(2)授業料等の減免の有無

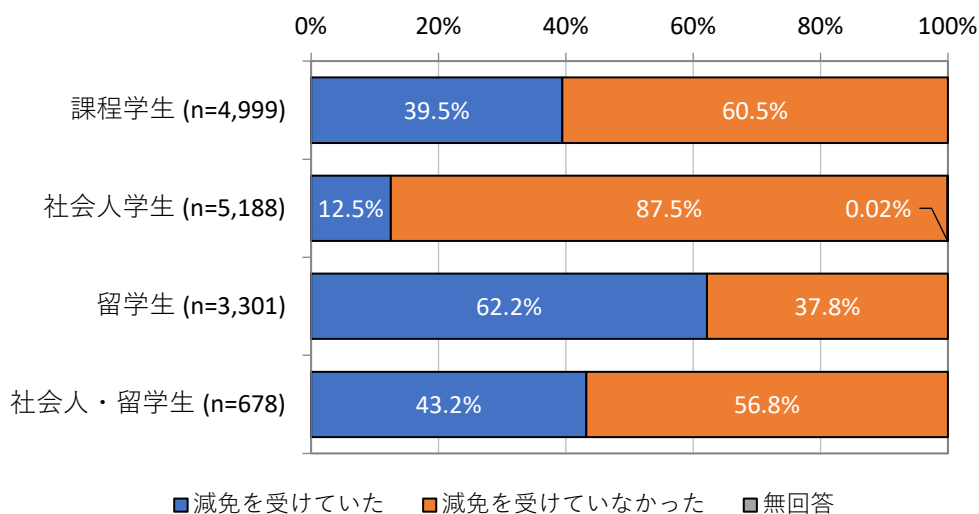
令和3年度の授業料等の減免の有無については、「減免を受けていなかった」が64.9%で、「減免を受けていた」(35.1%)より割合が高い。

学生種別にみると、「留学生」について、「減免を受けていた」の回答の割合が6割以上と全体より高い。

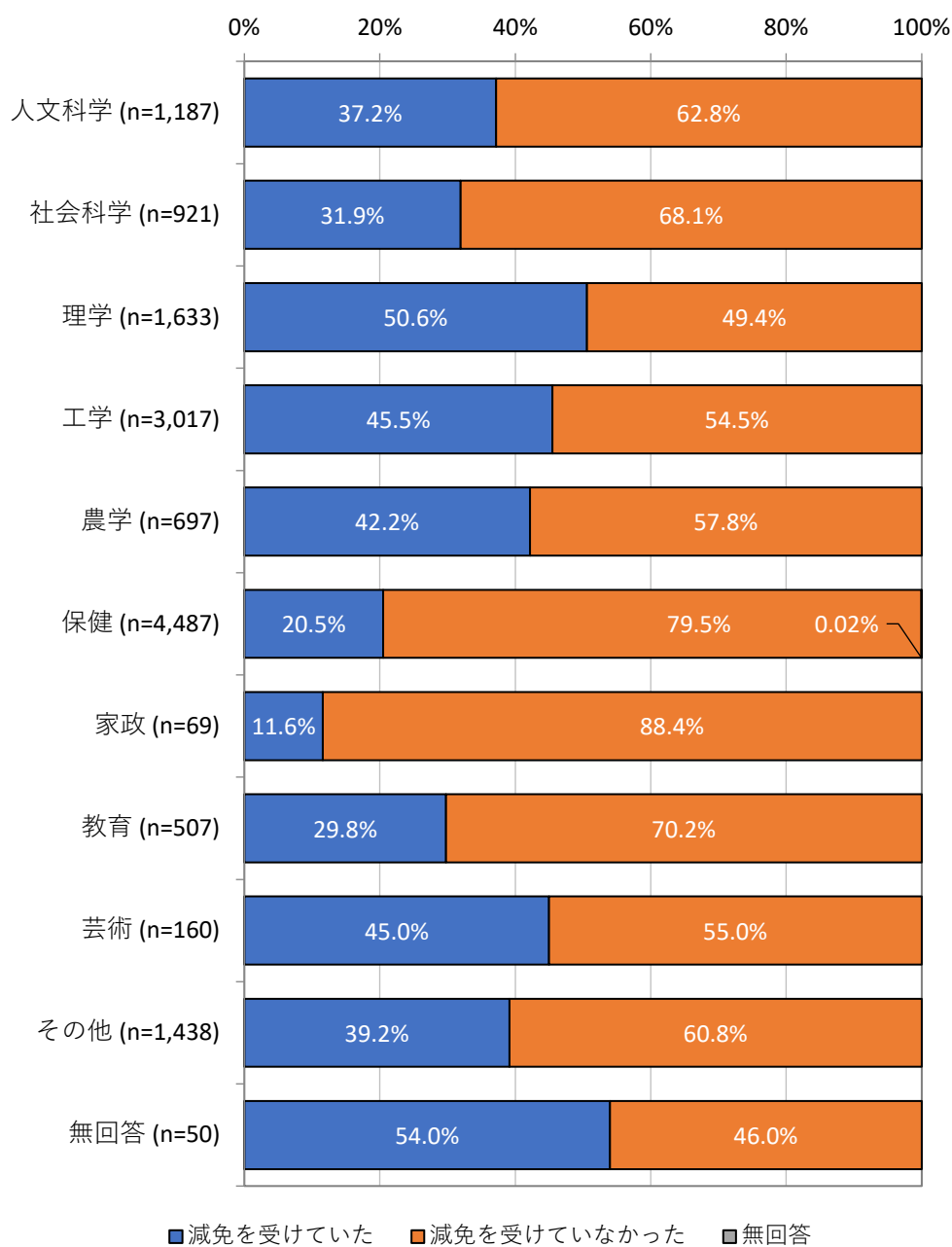
図表 2-86 授業料等の減免の有無 (全体) : n=14,166



図表 2-87 授業料等の減免の有無 (学生種別)



図表 2-88 授業料等の減免の有無（専攻分野別）

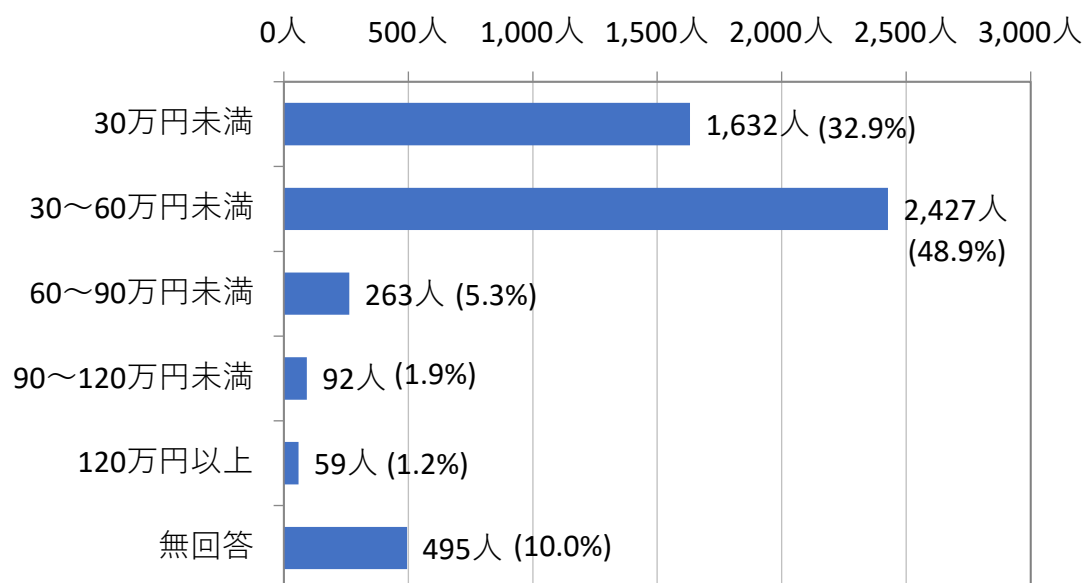


(3)1年間の授業料等の減免額

1年間の授業料等の減免額については、「30～60万円未満」が約半数（48.9%）であり、次いで「30万円未満」が32.9%となっている。

図表 2-89 1年間の授業料等の減免額（全体）：n=4,968

（授業料減免を受けていた者のみ）



図表 2-90 1年間の授業料等の減免額（学生種別）

（授業料減免を受けていた者のみ）

	全体	30万円未満	30～60万円 未満	60～90万円 未満	90～120万円 未満	120万円以上	無回答
全体	4968 (100.0%)	1632 (32.9%)	2427 (48.9%)	263 (5.3%)	92 (1.9%)	59 (1.2%)	495 (10.0%)
課程学生	1973 (100.0%)	488 (24.7%)	1139 (57.7%)	110 (5.6%)	39 (2.0%)	19 (1.0%)	178 (9.0%)
社会人学生	649 (100.0%)	232 (35.7%)	250 (38.5%)	44 (6.8%)	28 (4.3%)	5 (0.8%)	90 (13.9%)
留学生	2053 (100.0%)	800 (39.0%)	926 (45.1%)	96 (4.7%)	22 (1.1%)	30 (1.5%)	179 (8.7%)
社会人・留学生	293 (100.0%)	112 (38.2%)	112 (38.2%)	13 (4.4%)	3 (1.0%)	5 (1.7%)	48 (16.4%)

図表 2-91 1年間の授業料等の減免額（専攻分野別）

（授業料減免を受けていた者のみ）

	全体	30万円未満	30～60万円 未満	60～90万円 未満	90～120万円 未満	120万円以上	無回答
全体	4968 (100.0%)	1632 (32.9%)	2427 (48.9%)	263 (5.3%)	92 (1.9%)	59 (1.2%)	495 (10.0%)
人文科学	441 (100.0%)	194 (44.0%)	181 (41.0%)	17 (3.9%)	2 (0.5%)	5 (1.1%)	42 (9.5%)
社会科学	294 (100.0%)	106 (36.1%)	124 (42.2%)	25 (8.5%)	8 (2.7%)	7 (2.4%)	24 (8.2%)
理学	826 (100.0%)	282 (34.1%)	429 (51.9%)	20 (2.4%)	28 (3.4%)	7 (0.8%)	60 (7.3%)
工学	1372 (100.0%)	428 (31.2%)	709 (51.7%)	72 (5.2%)	16 (1.2%)	12 (0.9%)	135 (9.8%)
農学	294 (100.0%)	95 (32.3%)	127 (43.2%)	6 (2.0%)	9 (3.1%)	6 (2.0%)	51 (17.3%)
保健	920 (100.0%)	310 (33.7%)	443 (48.2%)	46 (5.0%)	4 (0.4%)	7 (0.8%)	110 (12.0%)
家政	8 (100.0%)	2 (25.0%)	2 (25.0%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)
教育	151 (100.0%)	48 (31.8%)	83 (55.0%)	2 (1.3%)	1 (0.7%)	4 (2.6%)	13 (8.6%)
芸術	72 (100.0%)	15 (20.8%)	24 (33.3%)	16 (22.2%)	12 (16.7%)	3 (4.2%)	2 (2.8%)
その他	563 (100.0%)	146 (25.9%)	284 (50.4%)	57 (10.1%)	11 (2.0%)	8 (1.4%)	57 (10.1%)
無回答	27 (100.0%)	6 (22.2%)	21 (77.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

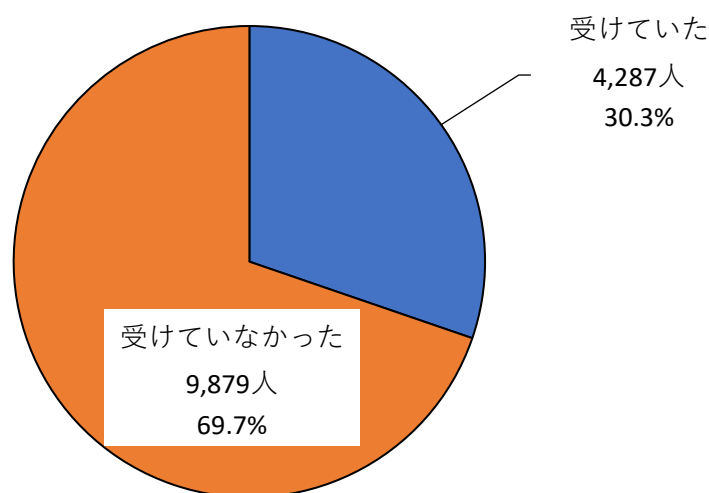
2-7-3 その他の経済的支援について

(1) 「授業料等の減免」、「日本学生支援機構の奨学金」以外の経済的支援の有無

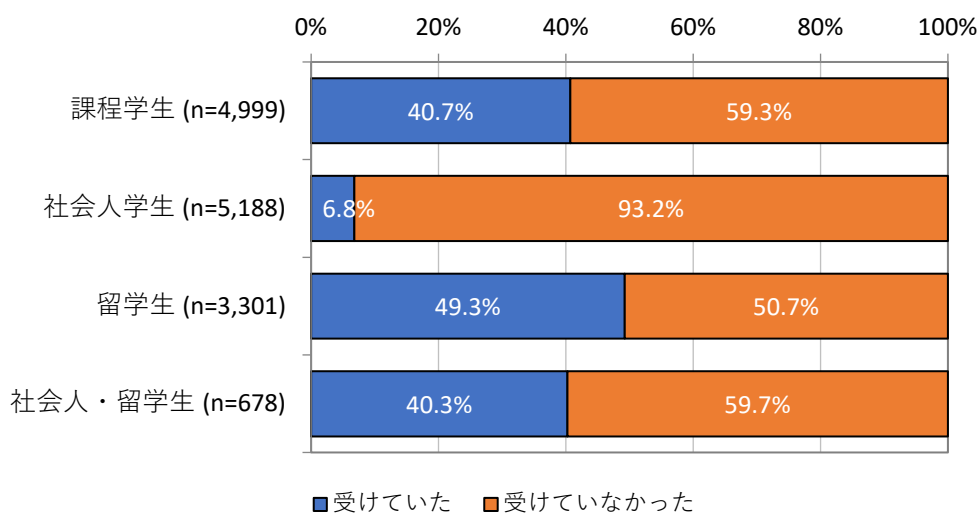
令和3年度における「授業料等の減免」、「日本学生支援機構の奨学金」以外の経済的支援（以下、その他の経済的支援）の有無については、「受けていた」が30.3%、「受けていなかった」が69.7%であり、受けていなかった者の割合が高い。

学生種別にみると、「社会人学生」について、「受けていなかった」の回答の割合が9割と高い。

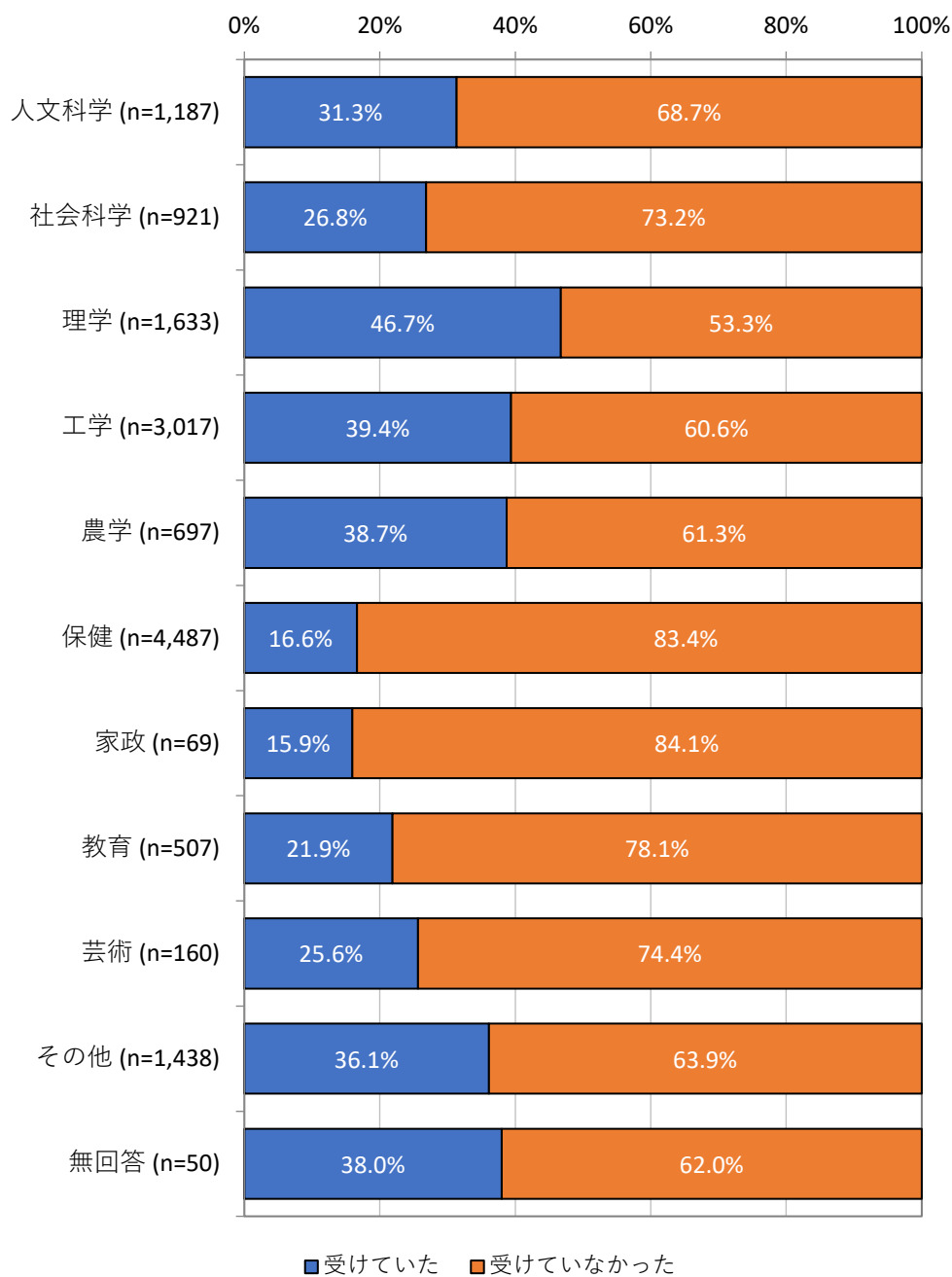
図表 2-92 その他の経済的支援の有無（全体）：n=14,166



図表 2-93 その他の経済的支援の有無（学生種別）



図表 2-94 その他の経済的支援の有無（専攻分野別）

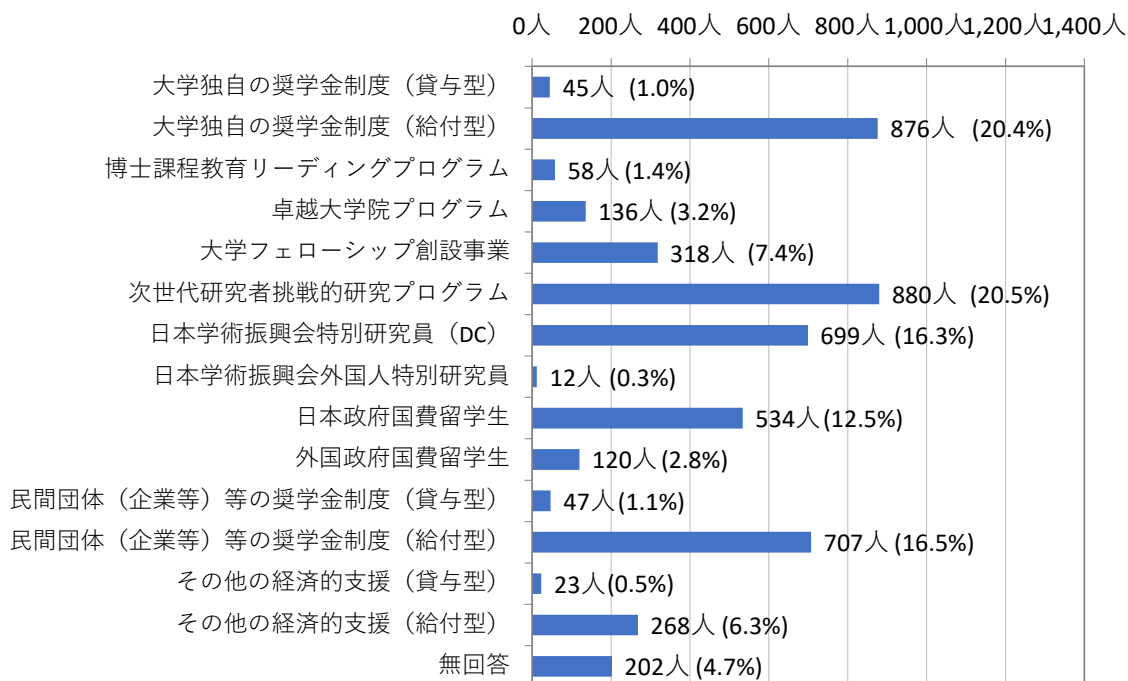


(2)受けていた経済的支援の内容

①受けていた経済的支援の種類

受けていた経済的支援の種類は、「次世代研究者挑戦的研究プログラム」と「大学独自の奨学金制度（給付型）」が約20%で最も割合が高く、次いで「民間団体(企業等)等の奨学金制度(給付型)」が16.5%となっている。

図表 2-95 受けていた経済的支援の種類（複数回答）（全体）：n=4,287
（その他の経済的支援を受けていた者のみ）



※「大学フェロシップ創設事業」「次世代研究者挑戦的研究プログラム」は、令和3年度より開始された事業のため、受給は年度途中からとなっている。

図表 2-96 受けていた経済的支援の種類（複数回答）（学生種別）

（その他の経済的支援を受けていた者のみ）

	全体	大学独自の奨学金制度（貸与型）	大学独自の奨学金制度（給付型）	博士課程教育リーディングプログラム	卓越大学院プログラム	大学フロンティア創設事業	次世代研究者挑戦的研究プログラム	日本学術振興会特別研究員（DC）	日本学術振興会外国人特別研究員	日本政府国費留学生	外国政府国費留学生	民間団体（企業等）等の奨学金制度（貸与型）	民間団体（企業等）等の奨学金制度（給付型）	その他の経済的支援（貸与型）	その他の経済的支援（給付型）	無回答
全体	4287 (1.15)	45 (1.0%)	876 (20.4%)	58 (1.4%)	136 (3.2%)	318 (7.4%)	880 (20.5%)	699 (16.3%)	12 (0.3%)	534 (12.5%)	120 (2.8%)	47 (1.1%)	707 (16.5%)	23 (0.5%)	268 (6.3%)	202 (4.7%)
課程学生	2035 (1.21)	23 (1.1%)	426 (20.9%)	36 (1.8%)	84 (4.1%)	243 (11.9%)	496 (24.4%)	630 (31.0%)	5 (0.2%)	28 (1.4%)	3 (0.1%)	32 (1.6%)	321 (15.8%)	11 (0.5%)	79 (3.9%)	53 (2.6%)
社会人学生	353 (1.07)	11 (3.1%)	155 (43.9%)	2 (0.6%)	7 (2.0%)	3 (0.8%)	32 (9.1%)	14 (4.0%)	1 (0.3%)	3 (0.8%)	0 (0.0%)	8 (2.3%)	50 (14.2%)	7 (2.0%)	23 (6.5%)	61 (17.3%)
留学生	1626 (1.09)	7 (0.4%)	258 (15.9%)	17 (1.0%)	40 (2.5%)	69 (4.2%)	331 (20.4%)	51 (3.1%)	4 (0.2%)	391 (24.0%)	90 (5.5%)	6 (0.4%)	299 (18.4%)	5 (0.3%)	134 (8.2%)	77 (4.7%)
社会人・留学生	273 (1.09)	4 (1.5%)	37 (13.6%)	3 (1.1%)	5 (1.8%)	2 (0.7%)	21 (7.7%)	4 (1.5%)	2 (0.7%)	112 (41.0%)	27 (9.9%)	1 (0.4%)	37 (13.6%)	0 (0.0%)	32 (11.7%)	11 (4.0%)

図表 2-97 受けていた経済的支援の種類（複数回答）（専攻分野別）

（その他の経済的支援を受けていた者のみ）

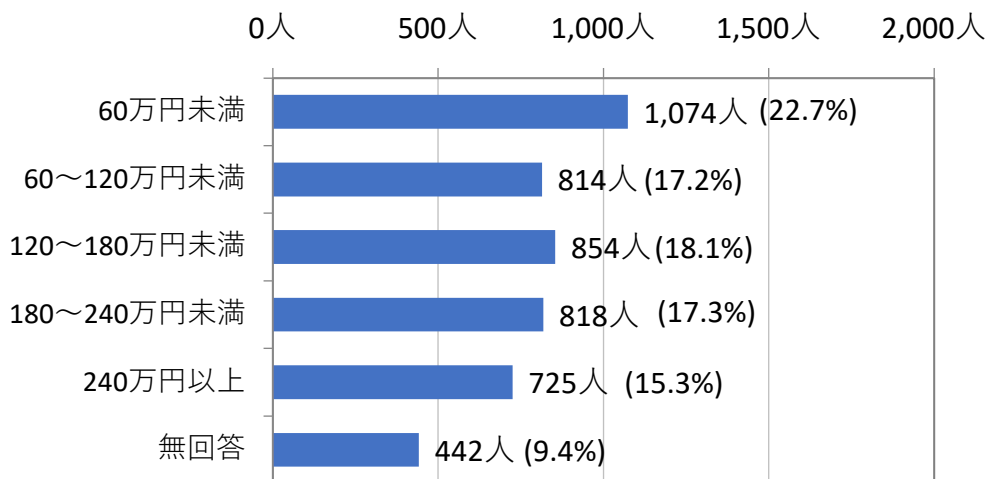
	全体	大学独自の奨学金制度（貸与型）	大学独自の奨学金制度（給付型）	博士課程教育リーディングプログラム	卓越大学院プログラム	大学フロンティア創設事業	次世代研究者挑戦的研究プログラム	日本学術振興会特別研究員（DC）	日本学術振興会外国人特別研究員	日本政府国費留学生	外国政府国費留学生	民間団体（企業等）等の奨学金制度（貸与型）	民間団体（企業等）等の奨学金制度（給付型）	その他の経済的支援（貸与型）	その他の経済的支援（給付型）	無回答
全体	4287 (1.15)	45 (1.0%)	876 (20.4%)	58 (1.4%)	136 (3.2%)	318 (7.4%)	880 (20.5%)	699 (16.3%)	12 (0.3%)	534 (12.5%)	120 (2.8%)	47 (1.1%)	707 (16.5%)	23 (0.5%)	268 (6.3%)	202 (4.7%)
人文科学	372 (1.13)	3 (0.8%)	107 (28.8%)	0 (0.0%)	2 (0.5%)	9 (2.4%)	63 (16.9%)	67 (18.0%)	1 (0.3%)	31 (8.3%)	10 (2.7%)	4 (1.1%)	81 (21.8%)	0 (0.0%)	25 (6.7%)	17 (4.6%)
社会科学	247 (1.12)	3 (1.2%)	71 (28.7%)	2 (0.8%)	3 (1.2%)	7 (2.8%)	38 (15.4%)	18 (7.3%)	0 (0.0%)	31 (12.6%)	7 (2.8%)	4 (1.6%)	50 (20.2%)	4 (1.6%)	24 (9.7%)	14 (5.7%)
理学	763 (1.17)	6 (0.8%)	106 (13.9%)	19 (2.5%)	35 (4.6%)	82 (10.7%)	182 (23.9%)	197 (25.8%)	3 (0.4%)	58 (7.6%)	19 (2.5%)	6 (0.8%)	114 (14.9%)	2 (0.3%)	34 (4.5%)	26 (3.4%)
工学	1188 (1.14)	5 (0.4%)	229 (19.3%)	19 (1.6%)	35 (2.9%)	97 (8.2%)	262 (22.1%)	179 (15.1%)	6 (0.5%)	175 (14.7%)	48 (4.0%)	11 (0.9%)	161 (13.6%)	4 (0.3%)	80 (6.7%)	45 (3.8%)
農学	270 (1.11)	1 (0.4%)	32 (11.9%)	3 (1.1%)	5 (1.9%)	13 (4.8%)	62 (23.0%)	58 (21.5%)	1 (0.4%)	55 (20.4%)	6 (2.2%)	3 (1.1%)	31 (11.5%)	1 (0.4%)	21 (7.8%)	9 (3.3%)
保健	746 (1.16)	22 (2.9%)	171 (22.9%)	8 (1.1%)	37 (5.0%)	46 (6.2%)	148 (19.8%)	75 (10.1%)	1 (0.1%)	79 (10.6%)	10 (1.3%)	16 (2.1%)	145 (19.4%)	10 (1.3%)	38 (5.1%)	57 (7.6%)
家政	11 (1.18)	0 (0.0%)	7 (63.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	2 (18.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (27.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
教育	111 (1.13)	1 (0.9%)	24 (21.6%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)	8 (7.2%)	27 (24.3%)	21 (18.9%)	0 (0.0%)	10 (9.0%)	3 (2.7%)	1 (0.9%)	20 (18.0%)	0 (0.0%)	5 (4.5%)	3 (2.7%)
芸術	41 (1.22)	0 (0.0%)	7 (17.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (7.3%)	0 (0.0%)	1 (2.4%)	3 (7.3%)	1 (2.4%)	27 (65.9%)	0 (0.0%)	4 (9.8%)	4 (9.8%)
その他	519 (1.17)	4 (0.8%)	118 (22.7%)	5 (1.0%)	16 (3.1%)	53 (10.2%)	95 (18.3%)	73 (14.1%)	0 (0.0%)	92 (17.7%)	14 (2.7%)	1 (0.2%)	74 (14.3%)	1 (0.2%)	35 (6.7%)	26 (5.0%)
無回答	19 (1.32)	0 (0.0%)	4 (21.1%)	2 (10.5%)	1 (5.3%)	2 (10.5%)	3 (15.8%)	6 (31.6%)	0 (0.0%)	2 (10.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.3%)	1 (5.3%)	2 (10.5%)	1 (5.3%)

②年間受給額（制度別）

制度別の年間受給額については、最も多い回答が「60万円未満」の22.7%となっている。

図表 2-98 年間受給額（全体）：n=4,727（延べ数）

（その他の経済的支援を受けていた者のみ）



図表 2-99 年間受給額（学生種別）（延べ数）

（その他の経済的支援を受けていた者のみ）

	全体	60万円未満	60～120万円未満	120～180万円未満	180～240万円未満	240万円以上	無回答
全体	4727 (100.0%)	1074 (22.7%)	814 (17.2%)	854 (18.1%)	1543 (32.6%)	0 (0.0%)	442 (9.4%)
課程学生	2417 (100.0%)	468 (19.4%)	545 (22.5%)	246 (10.2%)	935 (38.7%)	0 (0.0%)	223 (9.2%)
社会人学生	318 (100.0%)	155 (48.7%)	68 (21.4%)	19 (6.0%)	32 (10.1%)	0 (0.0%)	44 (13.8%)
留学生	1705 (100.0%)	397 (23.3%)	183 (10.7%)	473 (27.7%)	517 (30.3%)	0 (0.0%)	135 (7.9%)
社会人・留学生	287 (100.0%)	54 (18.8%)	18 (6.3%)	116 (40.4%)	59 (20.6%)	0 (0.0%)	40 (13.9%)

図表 2-100 年間受給額（専攻分野別）（延べ数）

（その他の経済的支援を受けていた者のみ）

	全体	60万円未満	60～120万円未満	120～180万円未満	180～240万円未満	240万円以上	無回答
全体	4727 (100.0%)	1074 (22.7%)	814 (17.2%)	854 (18.1%)	1543 (32.6%)	0 (0.0%)	442 (9.4%)
人文科学	403 (100.0%)	126 (31.3%)	59 (14.6%)	78 (19.4%)	97 (24.1%)	0 (0.0%)	43 (10.7%)
社会科学	263 (100.0%)	89 (33.8%)	37 (14.1%)	54 (20.5%)	54 (20.5%)	0 (0.0%)	29 (11.0%)
理学	863 (100.0%)	151 (17.5%)	154 (17.8%)	114 (13.2%)	364 (42.2%)	0 (0.0%)	80 (9.3%)
工学	1311 (100.0%)	278 (21.2%)	201 (15.3%)	248 (18.9%)	474 (36.2%)	0 (0.0%)	110 (8.4%)
農学	292 (100.0%)	49 (16.8%)	53 (18.2%)	63 (21.6%)	105 (36.0%)	0 (0.0%)	22 (7.5%)
保健	807 (100.0%)	194 (24.0%)	161 (20.0%)	136 (16.9%)	230 (28.5%)	0 (0.0%)	86 (10.7%)
家政	13 (100.0%)	3 (23.1%)	2 (15.4%)	3 (23.1%)	3 (23.1%)	0 (0.0%)	2 (15.4%)
教育	122 (100.0%)	26 (21.3%)	24 (19.7%)	22 (18.0%)	39 (32.0%)	0 (0.0%)	11 (9.0%)
芸術	46 (100.0%)	6 (13.0%)	16 (34.8%)	14 (30.4%)	8 (17.4%)	0 (0.0%)	2 (4.3%)
その他	583 (100.0%)	147 (25.2%)	103 (17.7%)	117 (20.1%)	162 (27.8%)	0 (0.0%)	54 (9.3%)
無回答	24 (100.0%)	5 (20.8%)	4 (16.7%)	5 (20.8%)	7 (29.2%)	0 (0.0%)	3 (12.5%)

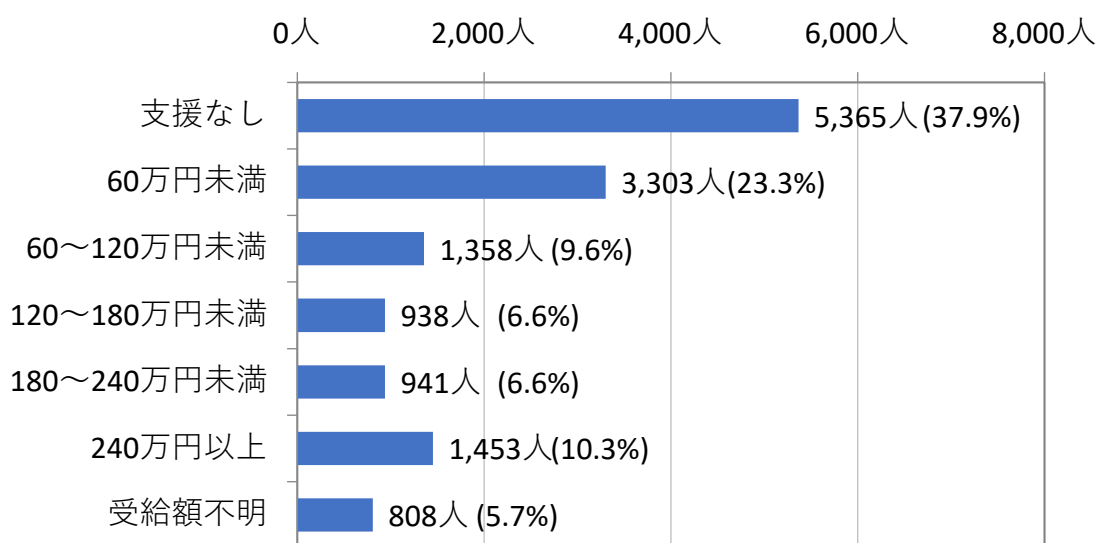
2-8 一人当たりの総受給額（貸与型奨学金除く）

2-8-1 経済的支援（TA・RA、授業料減免、その他経済的支援）の総受給額

貸与型奨学金を除く、TA・RA、授業料減免、その他経済的支援（給付型）の一人当たりの総受給額についてみると、「支援なし」が37.9%と最も割合が高く、次いで「60万円未満」が23.3%となっている。また、生活費相当額（180万円以上）の受給者は16.9%となっている。

入学年度ごとにみると、在籍期間が長くなるにつれて「支援なし」の割合が高くなっていることがわかる。

図表 2-101 経済的支援（貸与型奨学金除く。日本学生支援機構の奨学金返還免除額は含む）の一人当たりの総受給額（全体）：n=14,166



※日本学生支援機構の奨学金返還免除額は、返還免除額を貸与年数で除して年額換算している。

図表 2-102 経済的支援（貸与型奨学金除く。日本学生支援機構の奨学金返還免除額は含む）の一人当たりの総受給額（学生種別）

	全体	支援なし	60万円未満	60～120万円未満	120～180万円未満	180～240万円未満	240万円以上	受給額不明
全体	14166 (100.0%)	5365 (37.9%)	3303 (23.3%)	1358 (9.6%)	938 (6.6%)	941 (6.6%)	1453 (10.3%)	808 (5.7%)
課程学生	4999 (100.0%)	850 (17.0%)	1368 (27.4%)	729 (14.6%)	412 (8.2%)	385 (7.7%)	940 (18.8%)	315 (6.3%)
社会人学生	5188 (100.0%)	3935 (75.8%)	701 (13.5%)	166 (3.2%)	49 (0.9%)	26 (0.5%)	46 (0.9%)	265 (5.1%)
留学生	3301 (100.0%)	413 (12.5%)	1056 (32.0%)	400 (12.1%)	401 (12.1%)	449 (13.6%)	417 (12.6%)	165 (5.0%)
社会人・留学生	678 (100.0%)	167 (24.6%)	178 (26.3%)	63 (9.3%)	76 (11.2%)	81 (11.9%)	50 (7.4%)	63 (9.3%)

図表 2-103 経済的支援（貸与型奨学金除く。日本学生支援機構の奨学金返還免除額は含む）の一人当たりの総受給額（専攻分野種別）

	全体	支援なし	60万円未満	60～120万円未満	120～180万円未満	180～240万円未満	240万円以上	受給額不明
全体	14166 (100.0%)	5365 (37.9%)	3303 (23.3%)	1358 (9.6%)	938 (6.6%)	941 (6.6%)	1453 (10.3%)	808 (5.7%)
人文科学	1187 (100.0%)	407 (34.3%)	369 (31.1%)	106 (8.9%)	90 (7.6%)	58 (4.9%)	93 (7.8%)	64 (5.4%)
社会科学	921 (100.0%)	389 (42.2%)	237 (25.7%)	87 (9.4%)	50 (5.4%)	47 (5.1%)	54 (5.9%)	57 (6.2%)
理学	1633 (100.0%)	288 (17.6%)	357 (21.9%)	207 (12.7%)	143 (8.8%)	180 (11.0%)	369 (22.6%)	89 (5.5%)
工学	3017 (100.0%)	804 (26.6%)	691 (22.9%)	357 (11.8%)	276 (9.1%)	295 (9.8%)	437 (14.5%)	157 (5.2%)
農学	697 (100.0%)	147 (21.1%)	200 (28.7%)	98 (14.1%)	56 (8.0%)	70 (10.0%)	80 (11.5%)	46 (6.6%)
保健	4487 (100.0%)	2539 (56.6%)	855 (19.1%)	282 (6.3%)	176 (3.9%)	137 (3.1%)	203 (4.5%)	295 (6.6%)
家政	69 (100.0%)	43 (62.3%)	11 (15.9%)	4 (5.8%)	4 (5.8%)	1 (1.4%)	2 (2.9%)	4 (5.8%)
教育	507 (100.0%)	246 (48.5%)	121 (23.9%)	46 (9.1%)	15 (3.0%)	22 (4.3%)	38 (7.5%)	19 (3.7%)
芸術	160 (100.0%)	58 (36.3%)	43 (26.9%)	23 (14.4%)	11 (6.9%)	7 (4.4%)	14 (8.8%)	4 (2.5%)
その他	1438 (100.0%)	431 (30.0%)	404 (28.1%)	144 (10.0%)	113 (7.9%)	121 (8.4%)	154 (10.7%)	71 (4.9%)
無回答	50 (100.0%)	13 (26.0%)	15 (30.0%)	4 (8.0%)	4 (8.0%)	3 (6.0%)	9 (18.0%)	2 (4.0%)

図表 2-104 経済的支援（貸与型奨学金除く。日本学生支援機構の奨学金返還免除額は含む）の一人当たりの総受給額（入学年度別）

